

第六十三回帝國議會
衆議院

不動產融資及損失補償法案外一件委員會會議錄(速記)第二回

付託議案

不動產融資及損失補償法案(政府提出)
昭和七年法律第六號中改正法律案(昭和七年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル件)
(政府提出)

會議

昭和七年八月二十八日(日曜日)午後一時二十九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 金光 庸夫君

理事青木雷三郎君 理事大崎 清作君

理事松尾 四郎君

鈴木 英雄君

大石 倫治君

小笠原三九郎君

野田 俊作君

吉川吉郎兵衛君

豐田 豐吉君

出席政府委員左ノ如シ

大藏政務次官 堀切善兵衛君

大藏省銀行局長 大久保偵次君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

不動產融資及損失補償法案(政府提出)

○金光委員長 前回ニ引續キ開會致シマス、不動產融資及損失補償法案ヲ上程致シマス、審議ニ入ルニ先チマシテ、一寸御報告致シテ置キマスガ、昨日小笠原委員ヨリ

委員長ノ手許マデ、政府ニ參考書ノ提出ヲ要求シテ吳レト云フ御通告ガアリマシタノ

デ、委員長カラ政府委員ノ方ニ要求致シテ置キマシタ、所ガ大分出揃ヒマシタノデ、御手許ニ配付シテアル次第アリマス、尙

ホ二三提出漏レガゴザイマス分ハ、適當ノ時期ニ政府委員ヨリ其概略ノ數字等ニ付テ報告ナサルト云フコトノ御通告ガゴザイマ

シタ、左様御承知ヲ願ヒマス、政府委員ニ對シテ質問ヲ許スコトニ致シマス、通告ノ

順ニ依リマシテ武田君ニ先ヅ質問ヲ許シマ

ス

○武田委員 私ハ本案上程ノ際ニ本會議デ

二三ノ質問ヲ致シマシテ、大藏大臣ニ御

答辯ヲ御願致シタノデアリマスガ、未ダ

私ノ質問ノ趣旨、疑ノ趣旨ヲ十分ニ諒解

スルコトガ出來ナカッタノデアリマス、隨ヒ

マシテ本會議ニ於テ質問ヲシ、尙ホ諒解ヲ

ナル法案ヲ審議スルニ當リマシテ、如何ナル

觀點ニ立ッテ審議ヲ進ムベキカト云フコ

トニ付テ、簡單ニ一言申上ゲテ見タイト思

フノデアリマス、申上ゲル迄モナク此法案

即チ不動產ニ低賃ヲ融通スルト云フ計畫

ハ、前議會ノ最終ノ場合ニ、吾々政友會ノ

方ヨリ提案ヲ致シマシタ時局匡救ニ關スル

決議案ノ趣旨ニ御據リニナッタモノト思フ

ノデアリマス、其匡救決議案ナルモノハ、

御承知ノ通りニ内容ハ四箇條ニ分レテ居

タノデアリマシテ、其第一項ニ所謂通貨ノ

圓滿ナル流通ト云フ一項ガ最も重要ナル事

マス、而シテ其増發サレタル通貨ノ流通ヲ

圓滿ニスルト云フ二ツノ意味ヲ含ンデ居ル

ト云フ説明デアッタノデアリマス、尤モ其時

ニ民政黨ノ方デ御賛成ニナリマシタ御趣旨

ノ中ニハ、少シク異ッタ意味ヲ述べラレテ贊

成サレタノデアリマスケレドモ、兎モ角提

案者タル政友會ノ説明ヲ基ト致シマシテ、

多クノ異論ナク、異論ナイノミナラズ、全會

一致デ是ガ通過ヲ致シマシタ、其通過ヲ致

シマシタ時ニ總理大臣ガ此決議案ニ對シテ

全ク同感デアルカラ、此決議案ノ趣旨ヲ出

來得ルダケ速ニ具體化シ、成案ヲ得タ上ニ

於テ成べく早キ機會ニ於テ臨時議會ヲ開カ

ウト、斯ウ云フコトヲ其席上ニ於テ御辯明

ニナッタノデアリマス、隨テ私ノ考ヘル所デ

ハ、此決議ノ趣旨、即チ「インフレーション」

ヲ惹起スト云フ意味ト、而シテ其増發サレ

タル通貨ノ流通ヲ圓滿ニセシムルト云フ二

ツノ觀點カラ、總テノ金融ニ關係スル所ノ

法案ニ取ッテハ考慮ヲ致シ、研究ヲ致スト云

フコトガ至當ノ任務デアルト、斯様ニ考ヘ

テ居ルノデアリマス、惟フニ政府當局モ既

ニ總理大臣ノ御言明ニナッタコトデアリマスカラ、別ニ御異論ノアルベキ筈モナカラウト存ズルノデアリマスカラ、私ノ質問モ無論其ニツノ觀點ヲ基調ト致シマシテ、自分ノ疑ヲ質スト云フ意味デアリマスカラ、是モ豫メ御承知ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、私ハ本會議ニ於キマシテ第一ニ斯様なルコトヲ御伺ヲ致シタノデアリマス、本案ノ目的ガ銀行ノ救済ニアルカ、銀行ニ不動産ヲ擔保ニ提供ヲシテ、借入ヲシテ居ル債務者個人ヲ救済スルノ意味デアアルカト云フ意味ノ御伺ヲ致シマシタノニ對シマシテ、大藏大臣ハ全然私ト同ジ御意見デアアルヤウニ御答辯ニ相成ッタノデアリマス、但シ銀行ヲ救済スルコトハ總テ其債務者個人ニ結果ガ及ブノデアッテ、個人ヲモ救済スル結果ニ相成ルカラ、其目的ハ私ノ考ヘルノト同一デアアルケレドモ、銀行ヲ救フト云フコトデ結局同一ノ目的ガ達セラレ、斯様ニ御説明ニ相成ッタノデアリマス、私ハ此大臣ノ御答辯ノ意味ヲ如何様ニ解釋シテ宜シイカ、實ハ詳細ノ事ハ委員會デ御伺シタイ積リデ其儘ニ質問ヲ打切ッテ居ッタノデアリマスカ、此大臣ノ御答辯ヲ考ヘテ見マスノニ、二ツノ意味ニ解釋サレルカト私ハ考ヘルノデアリマス、第一ハ銀行ヲ救済スル、即チ

債務者ガ銀行ニ提供シテ居ル擔保ヲ更ニ融資銀行ニ提供スル場合ニ於テハ、債務者ノ同意ヲ得ルコトニナッテ居ル、此法律關係ハ私ハ法律ノ事ハ能ク存ジマセヌガ、サウ云フ順序ニナルサウデアリマスカラ、隨テ債務者ノ同意ヲ得ル場合ニハ、債務者ハ利率ニ於テモ從來ノ利率ヲ變更シテ、融資銀行カラ銀行ニ融通ヲサレル所ノ利率、即チ六分二厘ニシテ貰ヒタイト云フコトヲ主張スルデアリマセウシ、又返済ノ期間ニ於テモ十五年ト云フコトニナッテ居リマスレバ、同様な期間ニシテ貰ヒタイト云フコトヲ要求スルノデアリマセウシ、其要求ニ應ゼラレナケレバ、再擔保ニスルコトヲ債權者ハ承知致サナイト云フコトニナルノデアリマスカラ、總テハ同一ノ效果ヲ其債務者ニ及ボスデアラウ、斯様な意味ニ一ツハ取ラレルノデアリマス、今一ツハ此普通銀行ニ融資銀行カラ融通ヲ付ケマスレバ、普通銀行ノ融通能力ガ増加シテ、隨テ一般ノ人々ニ貸出ス能力ガ殖エテ來ルカラ、隨テ一般ノ人々モ金融ガ滑カニナル結果ヲ見ルダラウ、斯ウ云フ意味ニモ取レルノデアリマス、併ナガラ私ノ考ヘマスノニハ、第一ノ意味ニ致シマシテモ、銀行自身ト致シマシテハ六分二厘ニ融資銀行カラ借りマシテ、債務者ニ

モ同一ノ利率デ貸セルト云フコトニナリマスレバ、從來デモ此不況ノ爲ニ債務者自身ノ收得ガ頗ル減少シテ居ル爲ニ、銀行ニ對シテ返済モ出來ナケレバ、利子モ滞ッテ居ルト云フ状態デアアルノデアリマスカラ、將來ニ互ッテモ利子ノ滞リ勝チデアルト云フコトハ想像スルニ難クナイノデアリマス、而シテ一方融資銀行ニ對シテハ、是ハ何ト云フテ自分ノ責任ヲ以テ融資ヲ受ケタ以上ハ、此利子ト云フモノハ几帳面ニ取ラレルト云フコトハ已ム得ナイコトデアラウト思フノデアリマス、左様ニ致シマスルト云フト、銀行ハ成べく自分ノ責任ニ於テ融資ヲ受ケルコトヲ好マナイト云フ傾向ヲ現ハシテ來ルヤウナコトニナリハスマイカ、隨テ手許ノ相當緩カナ銀行ハ成べく融資ヲ受ケナイト云フ傾向ニナル虞ハアルマイカト考ヘルノデアリマス、若シ左様ニ致シマスルト云フト、低利資金ノ融通ヲ受ケヤウトスル銀行ハ、極メテ貧弱ナ、サウシテ資力ノ不足ナ、手許ノ頗ル困難ヲシテ居ル、或ハ間違フト預金ノ取付ニデモ遭ハントスルヤウナ、非常ナ貧弱ノ銀行ノミガ此融資ヲ受ケルコトニ相成ッテ、手許ノ緩カナ相當有力ノ銀行ガ一向此融資ヲ希望シナイ結果ニ陥リハスマイカ、左様ニ致シマスルト云フト、同ジク不

動產ヲ擔保トシテ居ル債務者ヲ救済スルノガ目的デアルト言ヒナガラ、其債務者ヲ救済スル上ニ於テ甚シク不公平ヲ招クコトニナリハスマイカト云フコトヲ私ハ虞レルノデアリマス

第二ノ意味ニ於テ、銀行ノ手許ヲ緩カニシ、地方ノ金融ヲ滑カニスルノ效果ト云ヒマシテモ、是ハ一應認メルコトガ出來マス、併ナガラ今申シマシタヤウニ、貧弱ナ銀行ガ此融資ヲ受ケルコトガ少ナイト云フ傾ガアルト致シマスレバ、此貧弱ナル銀行ナルモノハ大部分他カラ多大ノ借入金ヲシテ居ルノデアリマスカラシテ、先ヅ以テ其借入金ノ返済、即チ親銀行カラ借りテ居ル金ノ返済ニ其受ケタル所ノ低利資金ヲ充當スルコトハ、是ハ已ム得ナイコトデアラウト思フノデアリマス、勿論其一部分ハ預金ノ拂戻ニモ應ズルモノデアリマセウガ、先ヅ親銀行ノ方ニ借入金ヲ済スト云フ傾ニナルノモ、是亦免レナイコトデアラウト思フノデアリマス、左様ニ致シマスルト云フト、其親銀行ノ大部分ハ東京其他ノ中央ノ大銀行デアリマスカラ、其方ニ資金ガ還元シテシマッテ、所謂資金ト云フモノハ唯通ッテ行クト云フダケデ、空廻リヲシテ、即チ金ノ流通ト云フコトハ名ノミデアッテ、其實ガ舉ラ

ナイト云フ結果ニナルノデハナイカ、斯様ニ私ハ思フノデアリマス、尙又本會議ニ於ケル杉山君ノ質問ニ對スル大藏大臣ノ御答辯ノ中ニ、斯ウ云フ融資ヲ要求スル銀行ト云フ中ニハ休業銀行モ含ムカドウカト云フ質問ニ對シテ、大藏大臣ノ御答辯ハ、休業銀行ノ中デモ將來營業ヲ繼續シ得ル見込ノアル銀行ダケハ融資スルガ、サウデナイ休業銀行ニハ融資ヲシナイ、斯ウ云フコトデアッタノデアリマス、サウシマススト云フト、休業銀行ニ對シテ債務ヲ有ッテ居ル者ハ、全然此融資ヲ受ケルノ機會ト特權トヲ失ッテシマフト云フヤウナ結果ニナリハスマイカ、斯様ナ意味合カラ申シマシテモ、此第一條ニ於テ低資ノ要求ヲ「銀行ヨリ」ト云フ、銀行ダケニ限ッテアルコトハ、銀行デナケレバ出來ナイト云フコトニ銀行ヲ主トシテ居ル、此第一條ノ規定ト云フモノハ、ドウモ本案ノ目的ニ叶ハヌヤウニ私ハ疑フ尙ホ挾ンデ居ルノデアリマスガ、此點ニ對シテ私ノ疑ノ解ケルヤウニ、今一應ノ御説明ヲ煩シテ、其上ニ次ノ質問ニ移リタイト思ヒマス

○堀切政府委員 只今ノ御質問ニ一應私カラ御答申上ゲマス、此前ノ議會ノ政友會ノ提案ニ對スル島田君ノ御説明ニ付テ只今御

述ニナリマシタ、非常ニ政府モ諒解致シテ居ルノデアリマス、即チ通貨ヲ商工業等ノ産業ノ取引ノ爲ニ必要ナダケ増發ヲ致シ、尙ホ其出シタ資金ハ出來得ル限り圓滿ニ流通致スヤウニ、斯様ニ希望シテ居ルノデアリマス、其流通ノ圓滿ガ缺ケテ居ッテ、是ガ爲ニ經濟界ノ不況ノ一大原因ヲ爲シテ居ルノデアリマスカラ、之ヲ取除ク爲ニ種々ノ方法ヲ政府ニ於テモ攻究致シ、又種々ノ案ヲ提案致シタノデアリマスルガ、其中ノ一ツトシテ此處ニ上ッテ居リマス不動産融資及損失補償法モ提出サレタ次第デアリマシテ、是ハ武田君ノ御意見ノ通りデアリマス、然ルニ此通りノヤリ方デハ果シテ流通ノ圓滿ヲ期スル事ガ出來ルカドウカ、之ニ付キマシテハソレゾレハ意見ノ相違モ多少ハアルダラウト思ヒマスルケレドモ、私共ハ大體流通ノ圓滿ヲ期スル爲ニハ大變ニ是ハ役ニ立ツ、斯様ニ思ッテ居ルノデアリマス、既ニ本議場デモ質問應答ニ依テ明ニナリマシタ通り、固定シテ居ル銀行ノ不動産ニ對スル貸付ハ約十四五億アルノデアルガ、併ナガラ其全部ガ全部皆固定シテ何トモ致方ガナイト云フ狀況デモハアルマイト考ヘ

ルノデアリマス、ソレデ具體的ノ例ヲ御舉ゲニナリマシテ、斯ウ云フ場合ハ如何、斯

ウ云フ場合ハ如何ト云フ御説デアリマシタガ、一寸私ソレヲ一々今能ク記憶致サナイノデ、甚ダ失禮デアリマスガ、モウ一度チヨイ／＼ト簡單デ宜シウゴザイマスカラ、此點ハドウ、此點ハドウト御話ヲ願ヒタイト思ヒマス

○武田委員 私ハ實例ヲ舉ゲテ申シタノデハナイノデアリマシテ、本會議ノ際ニ此融資ノ目的トスル所ハ銀行ノ救済ニアルカ、債務者個人ノ救済ニアルカト云フ意味ノ質問ヲ大藏大臣ニ申上ゲタ場合ニ、大藏大臣ハ私ト同様ナ意見ヲ持ッテ居ルト云フ意味ノ御答辯ガアッタノデアリマス、御迷惑デアリマセウガ一寸申上ゲマス、斯ウ云フ御答辯ガアッタノデアリマス、私ノ今申上ゲタヤウナ質問ニ對シテ「成程手續トシテハ直接銀行ノ固定シテ居ルモノヲ流動サセルト云フノデスカラシテ、手續トシテハ第一ニ銀行ニ掛ルノデアリマス、併シ其結果ハ皆個人ニ行クノデアリマスカラ、ヤハリ單ニ銀行其モノヲ救済スルト云フノガ目的ニアラズシテ、重點ヲ置イテ居ルコトハ、銀行ヨリ不動産ヲ抵當ニシテ借りテ居ル個人ノ重荷ヲ輕クスルトカ、或ハ其融通ノ力ヲ付ケルト云フコトニ結果ハナルノデアリマスカラ、御考ト結果ニ於テハ變ラナイヤウニ

ナルト思フノデアリマス、斯様ノ御答辯デアリマシテ、即チ債務者個人ヲ救済シ、其融通力ヲ付ケルト云フ事ガ結局ノ目的デア

段ニハ相成ルデアリマセウケレドモ、不動産資金化ノ本流デハナイト思フノデアリマス、不動産ノ資金化ハ既ニ抵當證券法ニ依テ完全ニ其途ガ立ッテアルノデアリマス、唯ソレニ向ッテ多少變更ヲ加ヘレバ私ハ完全ナモノニナルト思フノデアリマス、即チ今日主ニ不動産抵當證券法ノ施行區域ヲ市街地ト指定シテアルモノヲ、之ヲ全國ノ指定地ニスレバ、是コソ洵ニ不動産ノ資金化ノ是ハ本流デアアルノデアリマス、故ニ不動産資金化ガ本案ノ目的デアリマスナラバ、私ハ寧ロ無用ノ長物ト云フ言葉ハ言ヒ過ギデアリマセウケレドモ、此不動産抵當證券法ト云フモノガ若シ多少ノ缺點ガアリマサルナラバ、今申上ゲタヤウナ指定地ヲ擴ゲルトカ、其他登記ノ方面ニ於テ便宜ニナルヤウニ修正ヲ加ヘルトカ云フコトデ、完全ニ不動産ノ資金化ハ行ハレルモノデハアルマイカ、斯様ニ考ヘルノデアアル、隨テ本案ハ要スルニ大藏大臣ノ御答辯ノアリマシタル通り、私ノ又希望致シマシタル如クニ、銀行ノ救済、若クハ不動産ノ資金化ト云フコトハ勿論此意味ガナイデハアリマセヌガ、今日銀行カラ不動産ヲ擔保トシテ借入ヲ致シテ居ルモノハ多ク農家ガ多イノデアリマスルガ、農家ハ近來ノ深刻ナル不況ノ

爲ニ所得ガ非常ニ減ッテ居ルノデアアル、サウシテ利子ヲ拂ウコトガ出來ナイ、無論元金モ返済スルコトガ出來ナイト云フテ苦シンデ居ルノデアリマス、一方銀行ハ資金不足ノ爲ニ此擔保ナルモノヲ先ヅ處分シヨウト云フテ債務者ヲ非常ニ責メテ居ルト云フ狀態デアアル、而シテ此擔保物ヲ處分スルト云フコトニナリマスレバ、是ハ到ル所皆様ノ御承知ノ通り、實際ノ時價ヨリモ尙ホ競賣スル場合ニ於テハ非常ナ安イコトニ相成ッテ居ルノデアリマシテ、實ニ二束三文ト云フ捨賣リニシテモ尙ホ所ニ依テハ不動産ヲ處分スルコトガ出來ナイト云フヤウナコトデ、非常ナ窮乏ニ陥ッテ居ルノデアアル、而モ不動産ヲ擔保トシテ普通銀行ヨリ融通ヲ受ケテ居ル人達ト云フモノハ、地方ニ於ケル所謂中産階級デアアルノデアリマス、即チ此中産階級ト云フモノハ事實ニ於テ國家ノ根幹ヲ成シテ居ルノデアリマスガ、中産階級ヲシテ力ヲ養ハシメ、又相當ノ更生ヲセシムルト云フコトハ、實ニ社會組織ヲ健全ニスル所以デアリ、又我國ノ生命ヲ非常ニ力強クセシムル重大ナル是ハ楔子ニナルモノト思フノデアリマス、斯様ナ意味合ニ於テ本案ハ計畫サレ發案サレタモノト私ハ信ジテ居ルモノデアアル、其意味合ニ於テ私が申上

ゲタヤウナ意味ヲ政府當局ニ於テモ御承認下サルト云フコトデアリマスナラバ、今申シタヤウナ條項ヲ第一條ニ加ヘラレテ、銀行カラ融通ヲ請求サレルコトモ出來ル、債務者個人カラモ請求スルコトガ出來ル、双方共同ジ立場ニ於テ銀行ニモ債務者個人ニモ融通ノ途ヲ與ヘルコトガ出來ル、斯ウ云フヤウニシタラ始メテ完璧デハアルマイカ、尙ホ何方ニ重キヲ置クカト云フナラバ、銀行ヨリハ債務者個人ニ重キヲ置クコト云フ方針デ、立法ノ趣旨モ茲ニ在ルト云フコトヲ明ニシテ置クコト云フコトガ、此場合最モ必要デナカラウカト云フ意味カラ、私ノ質問ヲ致シタノデアリマスルカラ、其趣旨ヲ御諒承ノ上御答辯ヲ御願致シタイト思ヒマス

○堀切政府委員 今日不動産ヲ擔保ニ入レテ金融ヲシテ居ルモノハ主トシテ中産階級ニ屬スル、是ガ國家ノ根幹ヲ成ス云々ノ點ニ付キマシテハ、私共ハ全く御同感デアアルノデアリマス、併ナガラ此不動産資金ノ融資産損失補償法ハ、普通銀行ガ不動産ヲ擔保トシ抵當トシテ融通ヲ致シマシテ、ソレガ回收ガ付カナイデ、是ガ爲ニ他ニ資金需要ノ要求ガアッテモ之ニ應ズルコトガ出來ナイ、或ハ一面ニ於テ預金者ヨリ預金ノ引出ニ遇ッテ、容易ニ其要求ニ應ズルコトガ出來ナイガ爲ニ、隨テ其銀行ハ店ヲ閉ヂナケレバナラスト云フヤウナ風ニナッテ、益々金融界ノ圓滿ヲ缺クヤウニナッタカラ、此融通ヲ付ケテヤルト云フニハ、ドウシテモ是其銀行ガ貸シテ居タモノデ、今取レナクテ困ッテ居ル、ソレニ融通ヲ付ケテヤルト云フノガ此本旨デハナカラウカト思フノデアリマス、隨テ此一條ニアル通り、銀行ヨリ要求アッタ場合ニハ斯ウ々々致スト云フコトニ致シテ置キマスガ、是ハ大藏大臣モ御説明ニナッタ通り、個人ノ債務者ガ銀行ニ話ヲシテ肩代リヲ要求スル場合ニハ、其銀行ガ之ヲ引受ケテ宜シイ、サウシテ更ニ融資銀行ニ請求シタ場合ニハ、融資銀行ハ融通スルコトニナルノデアリマスカラ、結局ハ武田君ノ御説ノ通り、或ハ大藏大臣ノ説明ノ如ク、ヤハリ個人ニモ是ガ及ブモノト考ヘルノデアリマス、況ヤ利子ガソレガ爲ニ安クナルト云フヤウナ場合ニハ左様デアリマス、ノミナラズ一般ニ是ガ爲ニ金融ノ圓滿ヲ期スルノガ目的デアリマスカラ、單ニ其銀行ニ對スル債務者バカリデナク、不動産ニ融通シテ困ッテ居ル銀行ニ融通ノ途ガ開ケテ參レバ、其融通セラレタ金額ヲ以テ其銀行ハ更ニ預金者ニ支拂フトカ、或ハ今迄

債權債務ノ關係ガナカタ第三者ニモ更ニ融通シ得ル力ヲ此處デ生ジテ参リマスカラ、單ニ債務者ト限ラズ、一般のニモ私共ハ資金圓滿ノ融通ヲ期スルト云フ目的ニ適フコト、考ヘル次第デアリマス

○武田委員 同一ナ質問ヲシテ甚ダ恐縮デアリマスガ、是ハ本案ノ目的ニ關スル重大ナ事ノヤウニ思ヒマスカラ、モウ少シ御尋ヲ致シタイト思ヒマス、今ノ政務次官ノ御話ハ一應御尤デアリマス、ソレハ左様ナ事ヲ債務者カラ銀行ニ頼ンデ、銀行カラ請求シテ貰フト云フコトハ勿論出來マセウ、然ラバ債務者ノ方カラ要求スルコトヲ許シテ置イテモ差支ナイデハナイカ、銀行ハ此融資ヲ要求スル時ニ其擔保ヲ請求スルト云フ爲ニハ、勿論債務者ノ同意ヲ得ナケレバナラスコトハ當然デアリマスケレドモ、此要求スルコトヲ銀行ノミ許スト云フコトハ、銀行ノ救済ヲ主ナル目的トスルカノヤウニ第一條ニ思ハレルノデアリマス、銀行ガ好マナケレバ債務者ガ頼ンデモ要求シナイ、要求スル權利ト言ヒマスカ、其手續ノ上ニ於テハ「銀行ヨリ」トアリ、債務者ノ方ヨリハ要求スルコトガ出來ナイコトニナッテ居リマス、所ガ銀行ニ内々頼込ンデ御情デ要求シテ貰フトハ出來マセウケレド

モ、法文ノ上ニ於テハ債務者ガ自分ノ銀行ニ提供シテ居ル擔保ヲ融資銀行ニ肩代リシテ貰フト云フコトヲ要求スル權利ヲ與イテ居ナイ、今政務次官ノ仰シヤル通りデアルナラバ、私が今申シタヤウニ「銀行ヨリ」トアルノヲ「銀行並其不動産ヲ提供シテ擔保トシテ居ル債務者ヨリ」ト、兩方同一ノ立場ニ置クヤウナ法文ニシタラバ明瞭ニナルト思イマス、之ヲ銀行ダケニ限ッタノハドウ云フ譯デアルカ、私ハ先程申シタヤウニ不動産ノ資金化ト云フコトデアルナラバ、不動産抵當ノ證券法ガドウシテモ本流デアル、ドウシテモ此法案ニ於テハ非常匡救ト云フ意味ニ於テ、中産階級ノ不動産ヲ擔保トシテ居ル人々ハ、今日實際上ノ問題トシテ非常ナ窮況ニ陥ッテ居ル、銀行カラハ責メラレルシ、擔保物ヲ處分スレバ殆ド二束三文ニナルト云フ、此狀態ヲ此儘ニシテ置イテハイカスカラ、ソレヲ救済スルト云フ強イ意味ヲ茲ニ含ンデ居ルモノデハアルマイカト考ヘテ居リマス、ノミナラズ大藏政務次官ノ仰シヤル如ク、又私ノ考ヘルガ如キ方法ニ致シマシテモ、結局今政務次官ノ御説明ニナッタヤウナ結果ニナルト思ヒマス、即チ此法案ニ規定シタヤウニ各個人ガ融資銀行ニ肩代リシテ貰ッタ時ニハ其金ヲ勝手

ニ使フトハ出來ナイノデアリマス、勿論其債權銀行ニ必ズ全額ヲ返済シナケレバナラナイノデアリマスカラ、債權銀行自身ガ直接融資銀行ヨリ融資ヲ受ケタト結果ニ於テ少シモ變ラヌノデアリマス、唯、普通のニ融資ガ届クト云フ便利ハアリマス、而シテ一面ニ於テハ普通銀行ト、普通銀行カラ借入レテ居ル債務者ガ同ジ立場ニ立ッテ居ルト云フコト、比較的多ク此低資ガ各方面ニ行渡ルト云フ二ツノ便利ガアルト云フ利得ハ、寧ロ私ノ申スヤウニスレバ其利便ガアルト私ハ考ヘマス、然ラバ若シ私ノ申スゲルコトガ相當デアルト云フコトニデアリマスナラバ、第一條ヲ今申シタヤウニスルコトガ適當デハナイカ、斯様ニ考ヘテ居リマス、今一應政府ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○大久保政府委員 只今ノ御尋ハ銀行ト其銀行ノ債務者ト云フ風ナ兩方ニ請求權ヲ與ヘタラドウダト云フ御趣旨ノヤウニ私承リマシタガ、御話ノ通りニ銀行ガ融資銀行ノ方ヘ請求ヲ致ス場合ニ於キマシテモ、此不動産ガ自分ノ銀行ノ所有ノモノデアラナラバ、何人ニモ相談スル必要ハゴザイマセヌガ、假ニ債權質、詰リ個人タル債務者ノ有ッテ居ル其不動産質デ行ク場合ニハ、ヤハリ

其不動産ヲ提供シタ債務者ノ承諾ヲ得ルカ、若クハ民法ノ規定ニ依テノ通知ヲ致シマスカ、何レニシテモ債務者ノ或ル程度ノ了解ガナケレバ實行出來マセヌノデ、其意味カラ申スト、ヤハリ債務者ト交渉ガアリマスノデ、今肩代リノ場合ニ付テ仰セデアリマシタガ、肩代リノ場合ニ於テハ銀行ガ直接債務者ノ不動産ヲ融資銀行ニ取ッテ貰ッテ、其得タル金ヲ銀行ヘ戻シテ貰フト云フ場合ハ、銀行カラ主トシテ請求スル場合ニナリマセウシ、又債務者カラ先ニ氣ガ付キ、先程政務次官カラ御話ノヤウニ、自分等モ此恩典ニ浴シタイト云フ意味カラ融資ノ請求ヲ銀行ニ相談スレバ、又其銀行モ自分モ資金ヲ返シテ貰フ譯デスカラ、利得ニ於テヤハリ之ニ應ジテ融資銀行ニ請求スルト云フ建前ニナルダラウト思ヒマス、何レニ致シテモ此法案ノ目的トシテ居ル所ハ、今日普通銀行等ニ於テ固定シテ居ル不動産ノ解放ト云フ方法ニ依テ地方ノ金融疏通ヲ圖ラウ、其請求ヲスル人間ヲ銀行ニヤラセタナラバ宜イカ、或ハ只今武田サンノ仰セノヤウニ債務者タル、個人ニ與ヘタラ宜イカト云フ手續上ノ問題ニナルダラウト思ヒマス、銀行カラヤルニシテモ債務者ニ或程度ノ了解ヲ得ナケレバナラヌ立場ニナリマセ

ウシ、ソレカラ請求者ニシテモ銀行ノ諒解ヲ得ナケレバナラス、其擔保ニ入レテ居ル物ノ解放ノ問題デスカラ、肩代リノ問題デスカラ、何レニシテモ其兩者ノ間ニハ水魚ノ關係ガアリマスカラ、立法ノ建前カラ見マシテ、大體ニ於キマシテ此不動産ヲ解放スルト云フ立場カラ立法致シマスカラ場合ニハ、手續上其銀行ヲ主體ニシテ考ヘテ行ク方ガヤリ易クモアリマセウシ、殊ニ今度ハ國家自身ノ補償ト云フ問題モ包含サレテ居リマスカラシテ、各個人ノ要求スルモノヲ一々許スト云フコトニナリマスト云フト、何ガ故ニ他ノ方法ニナッテ居ルモノ、普通銀行ノ擔保ニナッテ居ラナイモノ、各人が直接勸業銀行ニ持ッテ行クノモアリマセウシ、農工銀行ニ持ッテ行クノモアリマセウ、其他個人ナリ會社ナリニ抵當ニシテ居ルモノモアリマセウ、ソコマデ考ヘテ來レバ幾多ノ方法モ考ヘラレマセウケレドモ、差當リ此法案ノ目的トシテ居リマスル所ノ普通銀行、貯蓄銀行等ニ於キマシテ固定シテ居リマス資金ヲ通ジテ、其方ニ於キマシテ金融疏通ノ途ヲ開カウト云フ、先程政務次官カラモ御話ニナリマシタ金融疏通ノ一方法ニ此不動産金融ヲ付ケテヤッテ行カウト云フ途ヲ選ビマシタ譯デスカラ、其點ハ手續ノ上カラ

見テドウシテモ此方法ヲ採ル方ガ順當デアルト云フノデ、斯ウ云フヤウナ工合ニ吾々立案致シマシタ譯デス、尙ホ抵當證券法ヲ擴デレバ宜イデヤナイカト云フ御趣旨モアリマシテ、ソレモ一ツノ理窟デアルト思フノデゴザイマスガ、唯此抵當證券法ハ御承知ノ通り中々實際問題トシテ、又法規モ特色厄介デゴザイマスカラ、一般的ニ普及シテ居リマセヌ、此制度ニ慣熟シテ居ラヌノガ可ナリ多イノデアリマス、尙ホ隨テ手數モ相當煩雜デアリマスシ、又之ヲ施行シテ行キマス上カラ見テモ色々費用其他ノ點モゴザイマスノデ、只今御承知ノ通り全國ノ中ニ一部分シカ行ハレテ居リマセヌ、都會ガ主ニナッテ居リマシテ、全國ニ行レテ居ラナイノデ、之ヲ行フニハ相當ノ手續順序等モアリマス、法制自身ガ可ナリ複雑シテ居リマシテ、一般ノ慣熟ヲ近イ間ニ期待スルト云フコトモ困難デスカラ、色々ノ方法ヲ考ヘマシタ擧句、此方法ガ先ヅ手取早ク行クデアラウト云フ意味カラ立案致シタ譯デアリマス

○武田委員 銀行局長ノ御答辯ハ私ノ申シタコトニ多少誤解ガアリハシナイカト思フノデスガ、私ハ何モ債務者ガ普通銀行カラ其所有セル不動産ヲ擔保トシテ借入レテ居ル以外ノ、例ヘバ興業銀行カラ借入レテ居ルトカ、勸業銀行カラ借入レテ居ルトカ云フモノヲ肩代リスルコトヲ勝手ニ要求セシメルト云フ意味デヤ毛頭ナイノデス、唯銀行ガ要求スルト同ジ立場ニ個人ヲ置イタラドウカ、斯ウ云フ意味デ申上ゲタノデアリマス、勿論範圍ハ普通銀行カラ不動産ヲ擔保トシテ借入レテ居ル、其不動産ニ餘力ヲ與ヘルト云フ意味ニ於テ何等變ル所ハナイノデアリマス、唯個人ニモ要求權ヲ與ヘテ置クト云フコトハ先程モ申ス通り、此融資ノ目的ヲ普遍的ニ行フ上ニ於テ非常ニ便利デアル、ソレカラ若シ普通銀行ニ提供シテ居ル擔保ガ其債務額ト稍匹敵シタ場合ニ於テハ、議論ハ餘リ多クハナイデセウガ、若シ其擔保額ガ少イト云フ場合ニハ、債權銀行ハソレヲ若シ個人ニ肩代リテセシメルト云フト、其不足ダケ無擔保デ自分ガ脊負ハナケレバナラス、ダカラマア其儘ニシテ置クト云フ傾ガアリ易イト私ハ思フノデアリマス、普通銀行ニ致シマスレバ今度ノ政府ノ種々ナル御提案、其他財界ノ將來ヲ考ヘマシテ、將來ハ不動産ノ値上リガアルダラウト云フ見透シタスルノハ當然デアリマス、故ニ其擔保ヲシテ肩代リタスルト云フコトハ此儘デハアリ勝ダト云フノハ勿論デ

アリマス、隨テ此法案ノ目的、即チ融資ヲ普遍的ニ浸潤セシムルト云フ意味合ニ於テ、ドウシテモ私ノ申上ゲタヤウニシナケレバ、其處ニ幾多ノ不便ガアリハシナイカ、斯ウ云フ懸念カラ實ハ御何致シタノデアリマス、尙ホソレニ對シテ御答辯ヲ願ヘマスレバ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマスシ、又ソレ以上申上ゲルト云フコトハ或ハ意見ノ相違ニナルカモ知レマセヌカラ、若シ御答辯下サラヌト云フコトデアレバ、其次ノ質問ニ移リタイト思ヒマス

○大久保政府委員 大體今仰セノヤウナ工合ニ普通銀行ノ方デ自分ノ方カラ先ニ立ッテヤリマス時ニモ、債務者ノ方ニ或ル程度ノ諒解ヲ得ナケレバナリマセヌ、債務者ノ方ガ假令ソレヲ希望致シマシテモ、債權者ノ諒解ナシニハヤハリ是ハ實行出來ナイ問題ダラウト思フノデアリマス、ソレデ請求權ヲ債務者ニ與ヘテ置テモ、ヤハリ銀行ノ承諾ヲ得ナケレバ是ハ實行ハ出來ナイコトニナリマスカラ、其點ハ餘リ大シテ私等ハ實行上不便ガナイノデヤナイカト云フ考デ居リマス、普通銀行ノ方ハ融資銀行ノ方ニ承諾ヲ與ヘタ爲ニ一番抵當ヲソレニ取ラレテ、自分等ハ無擔保ニナリマスカラ欲シナイダラウト云フ御話デアリマシタガ、ヤハリ

普通銀行ノ方デハ其不動産ニ付キマシテニ番トカ、又一番ニ餘リガアレバ共同デ行キマセウ、相當ノ其處ニ權利保全ノ途ハ講ジマセウト思ヒマスカラ、其點ハ個人ニ權利ヲ與ヘテモ結局普通銀行ト協調シテヤッテ行カナケレバナラス問題ニナルカラ、其與ヘル形ニ於テハ餘リ大シタ私等ニハ差ハナイノデハナイカ、結局手續ヲドラニスル方ガ便利デアルカト云フ問題ニ歸著致シマスノデ、普通銀行ト融資銀行トノ聯絡ニ依テ却テヨリ圓滿ニ運ンデ行クノデヤナイダラウカ、斯ウ云フヤウニ思ッタノデアリマス、或ハ是以上ハ意見ニナルカモ知レマセヌクレドモ、大體サウ云フヤウナ趣旨デ此法案ハ此處ニ書イデゴザイマスヤウニ、第一條ノ第一項ノ方ハ直接銀行ガ不動産擔保デ貸シマス場合、第二ノ方ハ肩代リニ依テ個人ノ方ニ利益ガ直接ニ及ビマス場合、斯ウ云フヤウナ工合ニ書イテ居リマスノデ、實際ノ働キニ於テハ餘リ大シタ差ハアルマイト思ヒマス、唯手續上ノ問題ニ於キマシテ大體不動産資金化ト云フコトハ、抵當證券法ニ於キマシモ此前ノ勸業銀行ノ手ヲ踏ミマシテ、普通銀行ノ聯絡ヲ取りマシタ趣旨ニ見マシテモ、ドウシテモ金融機關ト金融機關トノ間ノ聯絡ニ依テ此金融ノ疎通ノ途

ヲ圖ッテ行クト云フノガ吾々ハ建前ノヤウニ考ヘルノデアリマス、結果ニ於テハ餘リ大シタ差ハナイヤウニ思フノデアリマス、其點ニ於テハ意見ノ相違ト云フコトニ歸著スルカモ知レマセヌガ、吾々ハ今日マデ考ヘテ居リマシタ金融機關ヲ通ジテ金融疏通ノ途ヲ圖リマス上カラハ、ヤハリ此普通銀行ト融資銀行トノ間ノ聯絡ニ依テ疏通ヲ圖ルト云フコトガ一番便利ノヤウニ考ヘテ居ル次第デアリマス、其點ドウゾ御諒承願ヒタイト思ッテ居リマス

○武田委員 今ノ點ハモウ是以上ハ意見ノ相違ニナリマスカラ此點ニ止メマシテ、次ニ此補償額ノ點ニ付テ伺ヒマス、本會議ニ於キマシテモ此補償額ノ一億ト云フノハ即チ政府ノ御豫定ニナッテ居ル融資總額五億ニ對シテ二割ニ當ッテ居ルノデアリマスカ、ソレハ其目的ヲ達スル上ニ於テ餘リニ小額デアアルマイカト云フ質問ヲ致シタノデアリマスガ、所ガ大藏大臣ハ此數字上ノ問題ハ政務次官ヨリ詳細ニ數字ノ上カラ説明セシメルト云フ御答辯デアリマシテ、之ヲ委員會ニ於テ伺ハウト思ッテ居ッタノデアリマスカラ、此場合此根據ヲ伺ヒタイト思フノデアリマスガ、私ノ考ヘマス所ニ依リマスト、如何様ナ數字上ノ根據ハアリマスカ、

是ハ承ッタ上デナケレバ何トモ判斷ヲ致シ兼ねマスケレドモ、今日ノ融資銀行ヲ大體勸業銀行トシテ取ッテ考ヘテ見マス、勸業銀行ハ御承知ノ通りニ擔保ニ取ルベキ不動產ノ大體時價ヲ見積リマシテ、サウシテソレノ六掛ニシテ、ソレヲ本當ノ勸業銀行ノ取ル時價ト認メ、更ニソレニ六掛ニシテ貸付ヲシテ居ルト云フ、所謂六六法ト云フ方法ヲ採ッテ居ルノデアリマス、是ハ極端ナ例カモ知レマセヌガ、少クトモ時價ト評定サレタモノニ對シテ六掛位シカ貸サヌノデアリマス、場合ニ依テ七掛ト云フノハ殆ドナイカト私ハ思フノデアリマス、是ハ六掛ニセヨ七掛ニセヨ、今度ノ融資トハ其間ニ於テ約三割四割ハ少ク貸付テアルノデアリマス、ソレヲ今度ノ法案ニ依テ時價一杯マデ貸スト云フコトニナリマス、從來勸業銀行ノ貸付ケタ慣例カラ見マスナラバ、三割乃至四割ノ危險ヲ負擔シテ居ル貸シ方ヲシナケレバナラスト云フコトニナルノデアリマス、サウシマススト二割ノ補償ヲ受ケテモ、勸業銀行トシテハ從來ノ貸付方ヨリハ尙ホ一割乃至二割ノ危險ヲ負擔シナケレバナラスコトニナルノデアリマスカラ、此融資ノ目的ガ私ハ達シナイト思フノデアリマス、故ニ少クトモ勸業銀行ガ現在貸シテ居ル程

度位ナ危險ヲ政府ニ於テ補償スルト云フコトデナケレバ、本案ノ目的ハ達セラレナイモノデアルト私ハ思フ、故ニドウシテモ三割若クハ四割位ノ補償ヲスルト云フコトハ是ハ當然ナ事デアアル、先程モ本案ノ目的ニ付テ申上ダタ時ノヤウニ、私ハ此融資ヲ完全ニ政府ノ豫定通りニサレルト云フコトハ中々容易デナイト實ハ見テ居ル、是ハ私人ノ考デハアリマセヌ、從來ノ實例ニ徴シテモ是ハ當局ノ十分御承知ノ通りデアアル、從來ノ低利資金ト云フモノハ満足ニ行ッタモノハ一ツモアリマセヌ、現ニ此不動産融資ノ目的デ二億圓ト云フ計畫ヲ御立テニナッテ、其中ノ五千萬圓ヲ取敢ズオヤリニナッタ實例カラ考ヘレバ直ニ二分ルコトデアル、非常ニ失敗デアアル、失敗ト云フコトハ穩當デナイケレドモ、其目的ノ通りニ行カナイ、是ハ中々困難ノ事デアアルノデアリマス、ソレハ私共第一「インフレーション」ト云フ觀點カラ考ヘレバ、ソレ等ノ點ガ重要ナ點デアリマシテ、若シ是ガ豫定通りニ五億ト御計畫ニナッタモノガ五億ヲ萬遍ナク貸付ケテ、其金ガ一般ニ浸潤スルト云フコトニナラナケレバ、「インフレーション」ノ目的ハ到底達スルコトハ出來ナイノデアリマス、シテ見マサルト云フト、是ハドウシテ

モ計畫通りニ適當ニ是ガ實現スルト云フコトニ向ッテハ餘程考慮ヲ加ヘテ見ナケレバナラス、勿論其實際上ノ手心ニモ依リマス、併ナガラ其方法ニ取ッテモ豫メ十分ナ考慮ヲ加ヘテ置カナイト云フト、私は是ハ實現スルコトハ頗ル困難デアラウト思フノデアリマス、左様ナ意味合カラ申シマスレバ、若シ現在勸業銀行ガ時價ヨリハ三割四割ヲ少ク貸付シテ居ルト云フコトデアリマスナラバ、其三割四割以上ノ危険ヲ政府ニ於テ補償スルト云フ位ナ大膽ナヤリ方デナケレバ、是ハ中々實際ニ於テ融資ヲ實現スル事ハ困難デハナイカト、斯様ニ思フノデアリマス、其點ハ何レニシマシテモ二割、一億圓ト云フノハ極メテ少額デアッテ、斯様ナル事デハ私ハ此目的ハ全然達セラレナイト云フ事ヲ確信スル者デアリマス、此點ニ付テ御伺スルノデアリマスガ、若シ適當ナ數字の根據ガアリマスナラバ、先ヅ以テソレヲ御示シテ願ヒタイノデアリマス

○大久保政府委員 一億圓ト云フ補償額ハ總貸高ニ對シテ二割ニ當ル、二割ノ補償デハ實行ガムヅカシイデハナイカト云フ御質問ノヤウニ承リマシタガ、此補償額ハ見方ニ依テハ仰セノヤウナ場合モ随分アルダラウト思ヒマス、併ナガラ今度ノ法律ノ建前

ハ、普通銀行ノ貸シテ居ル債權額ヲ其儘ニ融資銀行ガ融通シテヤルト云フ建前ニハナッテ居リマセヌ、此法案ノ第三條ニ於キマシテ書イテアリマス通りニ、其鑑定價格ハヤハリ資融銀行ノ鑑定價格ニ依リマシテ、唯從前ノ通り、今仰セニナリマシタ通り、全體ノ價格ノ中ノ三分ノ二シカ貸サナイ、三分ノ一ハ貸サナイト云フ風ナ所ヲ、三分ノ一ヲ引キマセヌデ丸掛デ貸ス、要スルニ價格相當ノモノハ其價格ダケ貸シテヤル、斯ウ云フヤウナ建前ニナッテ居リマス、仍テ只今御話ノ通り、又本會議ニ於テモ問題ニナリマシタヤウニ、從前ノ高イ時代ノ不動産ノ價格ヲ其儘ニ普通銀行等ガ取ッテ居ルモノト見マシテ、ソレヲ融資銀行ガ其儘ニ應ズルナラバ、成程大體ニ於テハ御説ノヤウナ事柄ニナルダラウト思ヒマス、併ナガラ必シモ今日普通銀行ノ取ッテ居リマス所ノ債權價格ヲ目當ニ鑑定價格ニスルト云フノハ、實際問題トシテ如何カト思フノデアリマス、ソレデ不動産ノ方ノ價額ハ御承知ノ通り大分變遷ガアリマシテ、今日ノ價格ハ餘程數字ノ上カラ見マシテモ、マア是ハ大體推測ニ互ル譯デスケレドモ、方々専門的ノ人ガ推測シタ所カラ見マシテモ、相當ノ價格ニ下ッテ來テ居リマス、其價格ニ基キマ

シテ融資銀行ガ鑑定ヲ致シマス、從前三分ノ二以內ト云フコトニナッテ居リマシテモ、大體ニ損失ヲ見ナイデ來テ居リマスガ、今度ハ此法律ニ依リマシテ丸掛ニ貸シマス譯デゴザイマス、其範圍內ニ於テハ相當ノ危険率モ踏マナケレバナラス、ソレ等ノ事情ヲ考ヘマシテ、大體ニ見當ヲ二割ト付ケマシタ次第デゴザイマス、此程度ヲ以テ此目的ヲ達シ得ルト云フヤウニ見マシタ譯デアリマス、或ハ私が誤解致シテ居リマシタラ尙ホ御尋テ願ヒマス

○武田委員 銀行局長ハ私ノ質問ノ趣旨ヲ能ク御諒解下サッテ居ナイヤウニ考ヘルノデアリマスガ、私モ勿論融資銀行ハ普通銀行ガ債務者ニ貸シテ居ル全額ヲ貸スト云フコトデナイコトハ、私ハ千萬承知シテ居リマス、唯茲ニ肩代リノ場合ニ於キマシテモ、或ハ銀行ニ融資スル場合ニ於キマシテモ、其處ニアル所ノ不動産ヲ現在ノ時價ニ見積リマシテ、ソレヲ一杯ニ貸スト云フ場合ニ、勸業銀行ガ現ニ貸出ヲシテ居ルヤウニ、現下ノ時價ニ六掛ナリ七掛デ貸ス場合ノ事ヲ考ヘテ見マスレバ、其處ニ明ニ勸業銀行ナリ其他ノ銀行ハ——融資銀行ハ三割乃至四割ノ危険ヲ負擔シテ居ルト云フ事ハ、是ハ論議ノ餘地ガナイト思ヒマス、然ラバ

少クトモ現在勸業銀行ガ貸付ケルニ於テ、現在貸付ケテ居ルヨリハ有利ノ立場ニ立タセナイ、現在ト同ジ立場ニ立タセルト致シマシテモ、三割ナリ四割ナリノ危険ダケハ政府ガ負擔シテヤルト云フコトハ、是ハ當然ノ事デハアリマセヌカ、若シ補償シナイト云フ建前ナラ格別デスガ、補償スルト云フ建前ナラバ、特別ノ政府ノ意圖ニ依テ斯様ナル非常時匡救ノ爲ニ勸業銀行ニ低資ヲ貸シテヤル、更ニソレヲ一般ノ銀行ニ貸シ、若クハ債務者ニ貸付ケルト云フコトハ、是ハ勸業銀行ガ進ンデヤル事柄デハナイノデアリマス、政府ノ意圖ニ從ッテヤルノデアリマスルカラ、自分ガ從來ヤッテ居ル仕來タリト違ッテ居ル危険ヲ負擔シテ、政府ノ政策ニ依テ之ヲ行フト云フナラバ、其不利ナ立場ニ立ツダケノ危険ハ政府ガ補償シテヤルト云フコトハ當然ノコトデアリマス、イカ、斯様ナ質問ヲ致シタノデアリマス、現在今申上ゲル通り二三割乃至四割ノ危険ヲ、勸業銀行ハ從來ノ自己資金デ貸付ケルヨリハヨリ多クノ危険ヲ負擔シテ居ルノデアリマス、ソレヲ何故ニ三割四割ノ危険ヲ負擔シテ居ルノニ、二割ト云フ風ニナスッタノデアアルカ、ソレヲ私ハ何フノデアリマス

○大久保政府委員 只今ノ御話カラ見マス

ト云フト、全體ノ普通銀行ノ不動産ニ付キマシテ勸業銀行ガ特ニ鑑定價格一杯マデ行クカラ、其處ニ既ニ三割ナリノ差ヲ生ズル、ソレヲ二割ト限ッテハ少イデハナイカト云フ御説ノヤウニ承リマス、私等ノ方デハ其點ニ付テハ全額——全債務者ノ全損ニ皆均一ニ來ルト云フ計畫ヲ立テ、居リマセヌ、其處ガ見解ノ異ナル所デハナイカト思ヒマス、ソレデ今日マデ各債務者ニ付テ普通銀行ナリ、殊ニ特殊銀行ナリガ貸出ヲシテ居リマス中ニ、斯ウ云フ風ナ不動産ノ貸出ニ付テ三十年間バカリ行ッテ居リマス實績カラ見マシテ、今日ノ此不況ガ或ハドウ云フ風ニナルカ、前途ノ見込ハ立チマセヌガ、兎ニ角此法案ノ目的トシテ居リマスヤウニ、是ハ十五年モ先ニ續キ得ル制度デゴザイマス、其間ニ於キマシテハ、經濟上ニ於テ相當ノ恢復ヲ豫定スルノモ強チ無理デハナカラウ、各種ノ點ト、ソレカラ今迄ノ實驗トヲ標準ニ致シマシテ、今日五億ノ金ヲ貸シマス場合ニ、其モノガ悉クノ債務者カラシテ三割ノ損失ガ起ルモノトハ考ヘテ居リマセヌ、其點ニ付テハ相當ノ歩引ヲ私等ノ方デハ致シテ居リマス、其點ガ或ハ御見解ト異ナルヤウニ思ヒマスガ、吾々ノ方ハソレ等ノ種々ノ點ヲ考ヘマシテ、大體ニ於

テ此程度デ宜カラウト云フノ達觀的ニ二割ニ致シマシタ、其基ク所ノ取方ハ仰セノヤウナ御趣旨ニ取レバモット是ハ殖エルト云フコトガ理論的ニナルカモ知レマセヌガ、私等ノ方デハ全損ニナルト云フ見方デハアリマセヌ、大體ニ於テ、債務者ノ關係ニ於テハ相當ニ此債務ノ履行ヲヤッテ行ク場合モ少ナカラズアリマス、大體ハソレデアリマス、其處ヲ見ル率ガ、或ハ御趣旨ノ點ト私等ノ點ト異ナッテ居ルヤウニ思ヒマス、其率ノ點ニ付テハ恐ラク意見ノ相違カトモ思ッテ居リマス、左様御諒承ヲ願ヒマス

○武田委員 今ノ點ハドウカモウ少シク嚴正ニ、敢テ斯ウ云フ問題ヲ取ッテ議論ヲスルコトハ甚ダ好マヌコトデアリマスガ、是ハドツチカラモ冷靜ニ御考ヲ願ヒタイノデアリマス、先程モ申上ゲタル通りニ、私ハ此融資ヲスルト云フコトハ、政府ノ御豫定通りノ融資ヲ實現スルト云フコトハ極メテ困難ダト思フノデアリマス、餘程注意ヲ拂ヒ、又實際上ノ手續ニ於テモ注意ヲ拂フノハ勿論デアリマスルガ、種々ナル出來得ルダケ合理的ナ方法ニ依テ便宜ヲ與ヘナケレバ中々實行ガ出來ナイ、斯ウ思フノデアリマス、勿論今銀行局長ノ御話ノ通りニ、二割ダカラト云ッテ二割ヲ損スルモノトハ私

ハ勿論考ヘマセヌ、考ヘマセヌガ、併シ貸ス中間ニ立ッテ融資ヲ引受ケル勸業銀行ナリ其他ノ銀行ノ立場ニ立ッテ御覽ニナッタラドウデアリマセウカ、アナタ御自身ニ勸業銀行ノ總裁ナリ、貸付ノ當局者トシテ御考ヲ願ヒタイノデアリマス、自分自身ノ資金デ貸スヨリハ、不利ナ貸方ヲセヨト云ッテ、果シテ眞劍ニ貸シマセウカ、或ハ二割ト云ッタカラ損失ハソレ以內デ止マルカモ知レマセヌ、併シ現在自分ガ不動産ノ時價ヨリハ三割若クハ四割ヲ引イテ貸シテ居ル、是ガ若シ銀行局長ガ仰シヤルヤウナラバ、モット餘計貸シテ宜イノデアル、多少ノ危險ナト云フ考デアレバコソ、三割四割ヲ貸シテ居ルノデアリマセウ、サラバト云ッテソレハ三割四割損ニハナリマセヌケレドモ、其處ニ安全率ヲ置イテ、三割四割少ク貸シテ居ルノデアリマス、ソレガ現在ヤッテ居ル勸業銀行ノ實際デアリマス、勸業銀行ハ六億五千萬圓貸シテ居リマスガ、皆サウ云フ方法デ貸シテ居ル、然ルニ政府ノ御趣旨ニ從ッテ貸シテ居ルノニ、自分ハ負擔率ヲ餘計シテ、尙ホオ前貸付ケルト云ッテ、果シテ熱心ノ程度ハドウデアリマセウカ、シナイトハ言ヒマスマイケレドモ、飽マデ政府ノ御趣旨ニ副フヤウニ努力シナケレバナラス、或

ハ努力ヲシテモ實際貸出ハ困難デアルカト思ヒマス、然ラバ成ベク政府ノ政策ヲ實現スルヤウニ御努メニナルコトガ然ルベキモノデアリマス、此一億ノモノガ二億、二億ノモノガ三億トナスツタカラト云ッテ、ソレダケ必ズ出シテヤラナケレバナラスモノデハナイ、實際ニ於テ損失ガ確定シタ場合ニヤルノデアリマスカラ、法律ニ於テ成ベク裕リヲ置イテ、融資銀行ニ安心ヲシテ、出來ルダケ大膽ナ貸付ヲセシムルヤウニ仕向ケルコトガ、此政策實現ノ上ニ於テ然ルベキデハアリマセヌカ、何モ之ヲ二億、三億ト法律ニ御掲ゲニナッテモ、少シモ政府トシテ損害ハ掛カルベキモノデハナシ、唯ヨリ多ク融資銀行ニ安心ヲ與ヘ、サウシテ大膽ニ政府ノ御趣旨ニ副フヤウニ努メシムルノ便利ガアルト云フダケデアリマスカラ、サウナスツタ方ガ適當デハアリマスマイカ、況ヤ今私ノ申上ゲルヤウニ、勸業銀行ヲシテ、今現在ヤッテ居ル其餘計ナ危險ヲ三割ナリ四割ナリ負擔セシムルト云フコトデアリマスタバ、政府ハ其負擔セシムル程度ノ危險ヲ補償ナサルト云フコトモ、合理的デモアルト思フノデアリマス、合理的ニシテ且ツ政府ノ御趣旨ガ徹底スルヤウナ方法デアリマシタナラバ、此二割ヲ三割ナリ四割ナ

リニ御増額ニナリマスコトハ、當然ノ結論
デアルマイカト私ハ左様ニ考ヘルノデアリ
マス、其點ニ向ッテ重ネテ御意見ヲ承リタ
イノデアリマス

○大久保政府委員 武田サンノ御承知ノ通
リニ、補償額ガ殖エルコトモ確ニ融資銀行
ニ於テヨリヤリ易クナルト云フコトノ點
ハ、私モ全ク是ハ多々益、辨ズルデアラウ
ト考ヘルノデアリマス、其點ニ付テハヨリ
ヤリ易クナルト云フコトニ付テハ、敢テ理
論上異議ヲ申上グル譯デハゴザイマセデ
スガ、唯下ノ程度ガ穩當デアルカト云フ點
ニ歸著スルノデハナイカト思ヒマス、現在
ノヤリ方ハ御承知ノ通りニ三分ノ二以内デ
貸シテ居リマス、ソレデ今日色々ナ實驗上
カラ見マシテ、勸業銀行其他不動産銀行ノ
ヤリ方カラ見マシテ、之ヲ全額マデヤッ
カヲト云ッテ、此全額ガ直チニ全損ト見ル
ドウト云フコトニ付テ、私等ハ計算上下ウ
モサウハ認メラレマセス、貸出ノ全體ノ中
ニハ實驗上カラソレノ危險率モ皆當業
者ニ於テモ考ヘテ居リマス、今日は等ノ計
數ヲ緩和致シマスニハ、色々ナ分子ヲ綜合
致シマシテ、結局ハ達觀ト云フモノヲ加ヘ
ルノデアリマセウケレドモ、ソレ等ノ方面
カラ見マシテ決メマスノデ、三分ノ一ニ之

ヲ擴ゲルカラ悉ク皆損失ニナルト云フノハ
是ハ損失ノ方カラ見レバ極ク安全率デアリ
マセウガ、併シ又補償ト云フコトハヤハリ
國家カラ見マスルト、時局非常ノ際デモア
リマスルシ、無論此方法モ執ッテ譯デゴザ
イマスルケレドモ、是等ノ數字ニ於テハ出
來ルダケ之ヲ合理的ニ決メテ行クト云フコ
トモ、亦考ヘナケレバナラヌカト思フノデ
アリマス、實際ニ於テソレ等ノ危險率ヲ見
マス標準ガ、悉ク三分ノ一擴ゲタカラシテ
全損ニナルト云フ風ナ見方デハナク、大體
サウ云フ風ナ推定法ヲ用ヒマシテモ、此程
度デ稍、宜カラウ、穩當ナ所デアラウ、望ム
ベクンバ此點モ餘リ多クハシナイ方ガ宜カ
ラウト云フ風ナ趣旨モゴザイマシテ、大體
ニ於テ之ヲ妥當ナ所ニ考ヘテ居ルノデアリ
マス、勸業銀行當事者等ニ於テモヤハリソ
レノ此案ニ付テハ實ハ相談ヲ致シテ見マ
シタガ、大體ニ於テ此案デヤッテ行カウト云
フ風ニ話合モ致シテ居ル次第デアリマス、
恐ラクヤル銀行ニ於キマシテモ是ヨリモヨ
リ以上ノ安全瓣ガ出來ルナラバ、無論多イ
コトニ如クコトハナカラウト思ヒマスケレ
ドモ、此程度デ以テ實際上サシタル支障モ
ナイノデアラウト云フヤウナ見据ガ付キマ
シテ、斯ウ云フ計數ヲ出シマシタ次第デゴ

ザイマス

○武田委員 ドウモ銀行局長ノ仰シヤルコ
トガ私ニハ益、解セヌノデアリマスガ、何モ
二割ト決メタカラト云ッテ、二割ヲ必ズ出サ
ナケレバナラヌト云フコトハナイ、ソレハ
最高限度ヲ決メタノデアリマスカラ、是ハ
二割ト決メタカラ二割ヲ必ズ出スト云ウタ
ナラバ、仰シヤル通りニ色々ナ達觀モシナ
ケレバナラヌシ、色々ナ方面カラ觀察シナ
ケレバナラヌガ、是ハ二割ト決メテモ、實
際ノ損失ハ委員會ニ於テ決定スルノデアリ
マスカラ、二割ト決メテモ三割ト決メテモ、
國家ハ必ズソレダケ損失ニナルト云フ譯デ
ハナイ、唯政府ノ政策ヲ實現シ、實施スル
上ニ於テテラガ便利カト云フ問題デアリ
マス、ソレデ之ヲ合理的ニ決メルト云フコ
トニナレバ、何處ヲ邊リニ決メタラ宜イカ、
多々益、辨ズルト云フモノデハナイノデア
ラウト思ヒマス、ソレハ多々益、辨ズルト
云フ今ノ御言葉カラ言ヘバ、昭和二年ノ如
ク全額ヲ補償スルト云フコトニナッタラ、ソ
レコソ所謂多々益、辨ズルデアラウガ、私ハ
サウ申スノデアリマセス、之ヲ如何ナル
コトガ合理的デアルカト言ヘバ、先程モ申
上ゲタヤウニ、現在勸業銀行ガ事實ニ於テ
行ッテ居ルヤリ方ト、政府ガ新ニ勸業銀行ヲ

シテ融資セシムル方法トノ其差ダケノ危險
ヲ負擔スルト云フコトガ、ヨリ以上ニ合理
的デハアリマスマイカ、私ハサウ考ヘルノ
デ、其事ヲ伺ッタノデアリマス、又實際問題
カラ云フト、勸業銀行ノ當局者トモ御相談
ニナッタト云フノデアリマスカラ、是ハ洵ニ
結構ナコトデアリマスガ、併シ一面私ノ聞
ク所ニ依リマスルト、是ハ政府ニ對シテ御
話ニナルコト、吾々民間ノ者ニ話サレル言
葉トハ大分違ッテ居ル、是ハ中々困難ダト
言ッテ居リマス、是ハ容易ニ實現ハシナイ
ト云フコトヲ私ハ聞イテ居ル、現在ノ此勸
業、其他ノ特殊銀行ノ貸付ニ取ッテハ、是ハ
政府當局モ屢々御聞キニナッタデアリマセウ
ガ、色々ナル方面カラ不平ガアルノデアリ
マス、中々之ヲ實際ニ於テ能ク貸付ケルト
云フコトニ付テハ、實際ニ困ッテ居ル者ハ中
中借ラレナイ、私ハ最初ニ銀行ヲ目的トス
ルカ、債務者ダケヲ目的トスルカト云フヤ
ウナコトニ付テ、甚ダ煩シク御伺シタノモ
サウ云フコトガ一ツハアルノデアリマス、
ドウモ今迄ノヤリ方ハ勸業銀行ナドハ成ベ
ク貸シ易イ、樂ナ、貸シテモ貸サナクテモ宜
イヤウナト言ッテハ語弊ガアルカモ知レマ
セヌガ、不動産擔保ト云ヒナガラ、事實ハ
不動産ノミヲ目標トシナイデ、對人信用モ

成べく加味シテ、成べく損ノ行カナイヤウ
ナ、貸シ易イ者ニ貸スト云フヤウナ傾向ガ
多クアルノデアリマス、隨テ實際此融資ヲ
受ケネバナラヌ、受ケルコトヲ熱心ニ希望
シ、受ケル爲ニ助カルト云フヤウナ人ハ融
資ヲ受ケナイト云フ實例ガ多クアルノデア
リマス、今度ノコトハ初メテ、アリマスカ
ラ結果ヲ見ナケレバ分リマセヌガ、從來ノ
實例カラ見ルトサウ云フコトハ往々ニシテ
アリマス、是ハアベコベノ言葉、言ヘバ吞
舟ノ魚ハ通ゲテシマツテ、雜魚ガ引掛カルト
云フヤウニ、ソレハ丁度アベコベノコトデ
アリマスガ、吞舟ノ魚ハ旨クヤツテ雜魚ハ一
向有難味ヲ受ケヌト云フ事實ガ今日アルノ
デ、ソレ故ニ私ハ茲ニ本案ノ上ニ於テ債務
者個人ヲ目標トスルト云フコトヲハッキリ
ナサル方ガ宜イト云フ意味デ第一問ヲ發シ
タノデアリマスガ、併シ是ハ既ニ終ヘタコ
トデアリマスカラ、重ネテ申ス譯デハアリ
マセヌケレドモ、兎ニ角實際ニ於テ勸業銀
行ガ實施ヲ爲ス場合ニ於テ、今當局ガ仰シ
ヤルヤウニ、是デ差支ナイト申サレタカド
ウカ知リマセヌケレドモ、是ハ私ハ餘程斟
酌ヲ加ヘナケレバ之ヲ實現スルト云フコト
ハ頗ル困難ダラウト思ヒマス、況ヤ之ヲ如
何ナル程度ニ損失補償額ヲ決メルコトガ合

理的カト云ヘバ、私ガ申上ゲマシタ通りニ、
現在勸業銀行ガ實際行ッテ居ル以上ニ負擔
スル危險ノ程度ヲ補償額トスルト云フコト
ガ合理的デハナイ、斯様ニ考ヘルノデアリ
マスガ、煩シイコトデアリマスケレドモ、
若シ更ニ御教示下サル點ガアリマスレバ伺
ヒタイト思ヒマス

○大久保政府委員

私ノ方デモ大體繰返ス

ヤウナコトニナリマスノデ、甚ダ恐縮デゴ
ザイマス、危險率ヲ幾ラニ見ルカト云フコ
トニ付テ御話ノヤウナ工合ニ、今後新シク
之ヲヤラセルノデアルカラ、其鑑定價格ノ
擴ガッタ分ハ之ヲ全損ト見タラ宜カラウト
云フ御趣旨モ一理アルコトデモゴザイマス
ガ、併シ實際ノ問題ト致シマシテ、吾々ノ
方デ從前ノ統計其他ノ點カラ見マスト、擴
ガマシタ債務者ニ悉ク是ダケ全損ニ來ルダ
ラウトハドウシテモ思ハレマセヌ、ソレハ
大體ニ於テヤハリ過去ノ實際、其他今迄ノ
不動産ニ對スル實狀等カラ見マシテモ、全
損ノ歩合ニ或ル程度マデ實際ノ經驗ヲ加
ヘテ、之ニ相當妥當性ヲ付ケテ行ッテ、擴ゲ
タ分ダケ全部ニハ危險デアルト云フ計算ハ
ドウモ立テ惡イヤウニ考ヘルノデアリマシ
テ、只今モ御話ノ通り、今マデノヤリ方ニ
付キマシテハ成程ソレハ堅過ギタト云フ點

モゴザイマセウガ、併ナガラ不動産ノ價值
其他ノ將來ヲ見マシテ、今後十五箇年間ニ
起リ得ベキ諸種ノ原因ヲ考ヘマシテ、又一
面國家ノ損害ト云フモノハ出來ルダケ妥當
性ノ所ニ納メタイト云フ風ナ趣旨カラ見マ
シテ、今迄ノ實狀カラシテ客觀ヲ加ヘマシ
テ、是等ニ相當ノ歩引ヲ致シマシタ結果、茲
ニ二割ト云フ數字ガ出マシタノデ、此點ダ
ケニ付テハドウモ計數ノ上カラ吾々ハ此點
ニ相當ノ實行性ガアリ、或ハ又御説ノ通り
實際ノ局ニ當ル人間ハ、是ヨリ以上ノコト
ヲ希望シテ居ルカモ知レマセヌガ、先ヅ現
在ノ時局ニ於キマシテ實行シ得ル程度、此
邊ガ妥當ノ所デアラウト云フ風ナ趣旨デ計
算ヲ致シマシタ次第デアリマス、ドウカ左
様御承知ヲ願ヒマス

○中島委員

私モ質問シタイ點ガ澤山アリ

マスガ、今銀行局長ノ御話ヲ承ッテ居リマシ
テモ、ドウモソコガ吾々ニモ徹底致シマセ
ヌ、本會デモ申上ゲマシタ通り、千圓ノ物
ガ貸付當時カラ見ルト半分ニナツテ、五百圓
ニナツテ居ル、又其五百圓ダケノ時價ヲ全部
貸シテ呉レテモ、既ニ是ハ半分シカ貸シ得
ナクナツテ居ルカラ、ソレヘ以テ行ッテ三分
ノ一ト三分ノ二ニ分ケテ、危險負擔ヲスル
ト云フコトニナツテ居リマスト云フト、此二

割ト云フモノガ非常ニ小サクナツテ來ル、多
分當局ノ御考デハ平價切下デモヤラレルヤ
ウナコトデモ想像セラレテ、若クハ物價ガ
高クナツテ不動産ノ値ガ上ツテ、其價格ガ元
ノ通りニ戻ルト云フヤウナ點デモ御考ニ
ナツテ、曩ニ此二割ト云フ危險負擔ヲ、實ハ
今デハ是ハ四割五割ニモシナケレバイカヌ
ノデアルガ、後ニナルトサウ云フモノガ騰
ルト云フ點ヲ見込ンデヤツテ居ルノデアリ
マセウカ、ソレカラ不動産價格ノ騰落指數
ト普通ノ物價、日常ノ生活品ハ是ハ別デア
リマスケレドモ、此物價ノ騰落ノ指數トハ、
私共ノ研究シタ所ニ依リマスト、不動産ト
云フモノハ騰落ノモ遅イシ、下ガルノモ亦
遅クナツテ居ルヤウナ數字ヲ持ッテ居リマ
ス、政府ハ其數字的ノ根據ニ依リマシテ、
從來ノ過去ノ不動産ノ騰落ノ指數ガ、將來
ニドウ云フヤウナ影響ヲ以テ此「インフレ
ーション」政策ト物價騰貴、購買力ノ増進
ト云フヤウナ現内閣ノ政策ヲ對照サレマシ
テ、此騰リ方ニ付テ如何ナル見込ヲ持ッテ
居ラレマセウカ、ソレガ分ッテ來マスト云フ
ト、武田君ヤ又吾々ノ間ハント欲スル所ノ
コトモ亦諒解ガ出來ルカモ知レヌノデアリ
マスガ、其點ヲ數字的ニ算出ノ根據ヲ明快
ニサレマシテ、唯借金五億ノ二割即チ一億

圓ダケノ補償ヲスルノダト云フダケノ所謂客觀ノ根據デナクシテ、武田君モ屢仰セラレマシタ如クニ、是ハ非常ニ重大問題デアリマスノデ、私モ本會デ申シマシタガ、十六億ノ中ノ三分ノ一ノ此五億ガ「インフレーション」ニナルカナラヌカト云フコトガ、現内閣ノ政策ノ殆ド重點デアルト吾々ハ考ヘル、果シテ然ラバ是ガイケナクナッタナラバ、十六億ノ三分ノ一ガ消エテ飛ンデ了フ、サウシテ颯ゴッコミタイナコトニナッテ居ル、是ガイケナクデハナイカ、是ガ旨ク行ケバ「インフレーション」ガ又起ッテ來ル因ニナッテ、不動産ノ價格ガ騰ッテ來ル因ニナリ、是ガイケナクナレバ騰ラヌ因ニナッテ來ルデアリマセウ、此不動産ニ割ト云フ補償ガ一ツノ或意味ニ於ケル「ブレーキ」ニナッテ居ル、「ハन्दル」ニナッテ居ル、横杆作用ニナッテ居ルト私ハ思フ、サウスルト此點ニ付キマシテハ吾々トシテハ、極メテ眞面目ニ研究シテ、當局ニ於テモ七千萬同胞ニ是ガ徹底スルヤウニ十分ニ御説明ヲ願ハナケレバ、吾々ノ背後ニ居ル七千萬同胞トニ付テ、非常ナル心配ヲシテ居ルト思フノデアリマスカラ、サウ云フ點ニ關シマシテノ御説明ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○大久保政府委員 實ハ此計數ニ付キマシテハ、色々ノ見方モアリマスガ、當局ノ持ッテ來マシタノハ、大體ソレノ理由ヲ以テ決メテ居リマスケレドモ、斯ウ云フ風ナ目安ハ、結局ハ客觀ヲ用ヒナケレバ決ラヌ問題デアリマスカラ、斯様ナ席ニ於テ一々吾々ノ考ヘテ居ル所ヲ説明スルノモ如何カト考ヘテ居リマシタケレドモ、武田サンカラモ色々ノ方面ニ互ッテ仰シヤイマスノデ、私カラモ或ル點マデソレデハドウ云フ考ヲ持ッテ居ルカ、大體ノ考ダケヲ一ツ申上ゲテ見タイト思フノデアリマス、全國ノ不動産ノ狀態ヲ見マスト云フト、是モ大體ハ推測ヲ加ヘタル統計デアラウト思ヒマスガ、世界大戰前ノ計數ヲ假ニ百ト致シマスト云フト、其値上リノ狀態ハ、一寸記憶デ申上ゲマスカラ少シ違フカモ知レマセヌガ、ソレヲ百ト致シマスト云フト、大正六七年位カラ統計ヲ始メテ居リマシテ、大正十一年、十二年頃ニハ二百九位ノ程度ニ上ッテ來テ居リマス、ソレカラ大正十三年頃カラ漸落シ始メテ來マシテ、最近ハ約百三十五位ノ數字ニナッテ來テ居リマス、ソレデ其物價ノ高低ト較ベテ、不動産ノ方ノ指數ニ付テハ必シモ同一ノ數字ニナッテ居ナイコトハ今中島サンノ言ハレタ通りデアリマス、將來

不動産ノ値ガドウ云フ風ナ工合ニ向フカト云フコトニ付テハ、只今中島サンカラ御話ノヤウニ、一般政策ノコトモ無論影響ヲ受ケルコトデアリマセウガ、サウ云フ風ナ直接ノコト、平價切下トカ云フヤウナ直接ノコトヲ考ヘマセヌデ、不動産ノ値段ノ狀況ヲ吾々ノ方デ推測シテ見テ、今日マデ下ッテ來テ居ル此値段ガ將來ドウナルカ、良クナルカ、或ハヨリ悪クナルカ、何レニシマシテモ非常ナ差ハナカラウト云フ風ニ吾々ハ考ヘテ居リマス、過去十年間ニ於テハ時價ト勸業銀行ノ鑑定價格等ニ於テハ非常ナ差ガアッタコトハ先程武田サンノ仰シヤッタ通りデアリマス、ケレドモ今後ノ不動産ノ價格ニ付テハ、過去ニ於テ非常ナ差ガアッタ時程ノ差ハナカラウ、サウ云フ風ナコトモ一ツノ標準ニシテ吾々ハ勘案シタノデアリマス、ソレカラ又勸業銀行等ニ於テ過去十年ナリ、相當ノ期間ノ實績カラ見タル延滞歩合、色々困ッテ居ル始末ノ工合ナドモ考ヘテ見マシテ、景氣ノ好イ時分ニハ、勸業銀行ニ付テ申シマスレバ延滞歩合ト云フモノハ〇・四位ノ程度デ、殆ド一分ニモ當ラナイ、併シソレガ漸次上ッテ來ルト云フ傾向デアリマス、ソレガ農工銀行、北海道拓殖銀行等ニ至リマシテハ、勸業銀行等ヨリ稍

高イ率ニ於テ其傾向ガ現レテ居リマス、最高ノモノニ於テハ一割近クノ率ヲ示シテ居リマス、是等ハ世間ノ景氣不景氣ニ依テ餘程變ッテ來ル計數デゴザイマス、固ヨリ各種ノ政策等ノ影響モアリマセウガ、吾々ハ斯ウ云フヤウナ數字ノ傾向ト云フモノヲモ或ル程度ニ於テ勘案ノ基礎ニシテ居ルノデアリマス、ソレデ勿論大戰前ノヤウニ非常ニ好イ數字ヲ示スニハ至ラズトモ、是迄ノ最惡ノ數字ト云フモノヲ今後十五年ナリ相當ノ間續ケテ行クトモ考ヘテ居リマセヌ、ソコデサウ云フヤウナコトモ頭ニ入レ、又銀行デ鑑定シテ居リマシタ實績カラモ段々勘案致シマシテ、假ニ今日五億ノ金ガ出ルト致シマシテ、其損失ノ來ルベキ部分ハ全額ヲ見積ル必要モナカラウト思ヒマシテ、大體ニ於テ四分ノ一見當ヲ見積ッタ宜カラウト云フノデ計算ヲ立テ、居リマス、勿論其額ニ付キマシテハ、二十五「パーセント」ニナリマスカラ、今マデノ〇・四トカ何トカ云フ率デハアリマセヌガ、色々ノ點カラ見マシテ大體四分ノ一ニ見タラ宜カラウ、ソレニ不動産ノ價格ノ餘計ニナル點モ考ヘマシテ、其損失ノ三分ノ一近クノモノモ勘案致シ、其他又全體カラ見ルト云フト、元金バカリノ計算デモイケマセヌ、利息ノ點モ今

言ヒマシタヤウナ大體ノ標準ヲ勘案致シマシテ計算ヲ取ラナケレバナリマセヌ、又融資銀行ノ受ケル手数料等ニ付テモ、ソレ等ノモノモ見ナケレバナリマセヌ、全體ノ年數モアルコトデアリマスカラ、其年數ニ割當テ、見ルコトモ實際ノ場合トシテハ必要デアル、サウ云フヤウナ各種ノ點ヲ總括シテ見マス、大體ニ於テ此數字ニ近イモノガ出テ參リマス、其數字ヲ基礎ト致シマシテ、稍「ラウンドナンバー」ヲ用ヒマシテ、ソコニ一億圓ト云フヤウナ數字ヲ出シタノデアリマス、是等ノ數字ノ基礎ニ付キマシテハ、吾々ノ方ニ於テハ相當ノ理論ヲ以テ考ヘタ積リデアリマス、併シ何ト申シマシテモ今説明致シマス通り、結局ハ斯ウ云フ風ナコトハ見方ニ依ルコトデアリマスカラ、或程度マデハ、ヤハリ達觀ヲ加ヘナケレバナリマセヌ、其達觀ハ又色々分子ガ元ニナリマスノデ、其分子ノ爲ニ相當動クコトニナリマスカラ、大體吾々ノ考ノ標準ヲ御參考ニ申上ゲマシテ、其考カラ吾々ハ計算ヲ取リマシタト云フコトヲ申上ゲル次第デアリマス

ナ差ハナカラウト云フヤウナコトヲ標準トサレテ居ラレルヤウデアリマスガ、ソレナラバヤハリ大正三年ノ百ニ對スル百三十五ト云フヤウナ見當デ、ズツ續イテ行クモノト見テノ計算ガ根本トナツテ、茲ニ二割ト云フ補償額ガ出來タト斯ウ解釋シテ宜シウゴザイマスカ

○大久保政府委員 不動産ノ價格ハ極ク計算ノ達觀ノ一材料デアリマス、ソレガ唯一ノ根據ニナツテ吾々ノ計算ヲ拵ヘタノデハアリマセヌ、吾々ノ唯一ノ——寧ロ直接ノ根據ト云フノハ幾ラバカリガ損失ニナルノデアラウカ、拾五年ノ間ニ債務者ニ依テ與ヘラレル所ノ損失、其原因ヲ勘案スル上ニ於テ、不動産等モ勘案致シタ次第デアリマス、不動産ノ價格ハ寧ロ間接ノ計算ニナツテ居リマス、直接ノ計算ハ擔保ニ於テハ大體ニ於テ債務者ノ中ノ四分ノ一位ガ損害ヲ與ヘル原因ニナルダラウ、ソレノ根柢ヲ爲ス所ノ不動産ノ價格等モ標準ニ用ヒマシタケレドモ、ソレハ間接ノ標準ニナツテ居ル次第デアリマス

○中島委員 相當上ルモノト見テ行ッテ、サウシテ延滞シテ行クモノト見レバ、此現在ノ二割デ宜イカモ知レマセヌ、ソレデモマダ私共ハ少イト思ヒマスケレドモ、併シソレヲ相當上ルモノト見、或ハ大體百三十五ノ指數ヲ續ケテ行クト見テ、延滞歩合ト云フモノモ今仰シヤラレマシタ通り、元金ノ○・四デ行クトスレバ、此二割ノ補償ノ歩合ヲ決メタト云フコトガ逆ニナツテ來ルヤウニ思フ、上レバ其價格モ増シテ行クシ、不動産取引モ多クナツテ行クシ、又一方ニ於テハ債務者ノ擔保力モ増シテ來マセウシ、ソコラアタリノ點ガ吾々ニハドウモハッキリ吞込メマセヌガ、現在ノ見當デ大體行クモノトスレバ、ドウモ二割デハ少イト武田君モ再三御質問ニナツタガ、達觀ノ材料デアルト言ハレマスガ、達觀ノ材料ト雖モ是ハ相當ナヤハリ數字ノ動キガ基礎トナツテ來タ達觀ノ材料デナケレバイカスト思ヒマスカ、上ラナイ、大體違ハヌ、是デ押シ通シテ行カレルガ、上ルモノナラバ私共ハ是デ宜カラウト考ヘテ居リマスガ、元ノ價格ガ御承知ノ通り今ノ不動産貸付ノ價格ノ大部分ハ、大正七年、八年、九年、十年頃ノ好景氣ノ最中ノ半分ニ減ツテ居ル、ソレヲ標準トシテ其鑑定價格デ現在ヤッテ行クト云フノデアラカラ、鑑定價格一杯貸シテモ貸付當時ノ不動産價格ノ半分ニモ行カナイ、ソレガ上ラヌモノト見テ行クバ、餘程不動産融資ノ關係カラ考ヘマシテ、是ハ武田君モ仰シヤラ

レタ如ク、五億ヲ民間ニ浸潤サスト云フコトハ益々吾々ハ疑惑ヲ深ウスル次第デアリマス、上ルモノト見テ相當ナ——百三十五乃至百四十二ナリ、元ノ二百ニ近クナツテ來ル、若クハソレニ近クナラナイデモ相當ナ所マデ上ツテ行クト云フコトナラ、補償割合ガ少イト云フコトモ亦私共ハ吞込メルノデアリマスガ、達觀材料ト致シマシテモ、少シ杜撰ニ失シハシナイカト思ヒマス、甚ダ失禮ナ言葉デアリマスガ、其點モウ一應御説明ヲ願ヒマス

○大久保政府委員 其損失ノ計數ヲ採リマスニハ色々見方ガアルダラウト思ヒマスノデスガ、吾々ノ採用致シテ居リマシテ大體此見當ガ宜カラウト云フ風ナコトヲ決メマシタ達觀ノ材料ヲ大體申上ゲマシタ次第デアリマス、今日ニ於キマシテモ價格ハ幾ラ上向キノ場合デモ、延滞ト云フコトハ免レマセヌノデス、是ハ全體ノ大勢ヲ申シマスノデスカラ、不動産ノ植段ノ統計等ニ付キマシテモ、大體ノ統計的數字ヲ申上ゲマスノデスガ、實際ノ營業者ノ眼カラ見マスト云フト、如何ニ計數的ニハ物價ガ上向キノ場合ニ於テモ、ヤハリ個々ノ取引ニ付テハ危險率ト云フモノヲ見ナケレバナラス譯デアリマス、是ハ其率ヲ見ル標準ハ或ル點

第六類第一號 不動産融資及損失補償法案(政府提出)委員會議錄 第二回 昭和七年八月二十八日

一三

マデハヤハリ一種ノ業務上ノ客觀ニ結局ハ歸著スルデアラウト思ヒマスカラシテ、吾ノ採リマシタ材料ノ大體ヲ申上ゲマシタ次第デアリマス、今迄ヤッテ居リマシタ分ヨリモ今度ノ分ハ、先程カラ武田サンノ仰シヤッタ通り、鑑定價格ヲ多ク見テ居ルダケソレダケキチント損ガ行クノデハナイカト云フヤウナコトハ、一ツノ理論トシテハ私ハ確カダラウト思フノデス、ソレダケヲ見テ行キマスレバ、三分ノ一ト云フ見方ヲスレバ、五億圓ノ三分ノ一ダケ損失ニナッテ行クノダ、斯ウ云フ風ナ見方モ一ツノ見方ダラウト思フノデアリマス、併ナガラ吾々ノ方デハ、サウ云フ見方モ一ツアリマスケレドモ、大體ニ於キマシテ先程申シマシタ通り標準ヲ全損トハ見マセス、其全損ト見ナイ理由ハ、斯ウ云フ風ナ理由モアルノダト云フコトヲ説明致シマシタノデス、之ヲ全損ト見マスルトカ云フコトハ、吾々ノ方ノ標準ダケヲ御説明申上ゲテ居ルコトニ一ツ御諒解ヲ願ヒタイト思ッテ居リマス、是ハ意見ニ依リマシテハ全損ヲ見タ方ガ全然宜シイト云フ御議論モ或ハアルカモ知レマセヌ、吾々ノ方ニ於キマシテハ、大體ニ於テ今迄ノ各種ノ原因ヲ綜合致シマシテ、四分ノ一見當ヲ以テ今後損ニ歸スル分デアアルダ

ラウ、ソレニ更ニ利子トカ手数料トカ云フ方面ノ分子モ考ヘマシテ、出テ來マシタ數字ヲ勘案致シマシテ、之ニ基イテ一億圓ト云フ「ラウンド・ナンバー」ノ出テ來マシタ其結果ガ五億圓ニ對シテ二割ト、斯ウ云フ風ナ數字ニナリマス事情ヲ申上ゲマスダケノコトデ、其達觀ノ數字ニ付テドウモ頭カラシテ是ハヤハリ減ッタダケソレダケ丸々損ト見タラ宜イデヤナイカ、斯ウ云フヤウナ御議論モ一ツノ御議論デアラウト思ヒマス、吾々ノ方ハ勘案致シタ方法ハ三分ノ一ト見タノデハナクシテ、色々計算シテ、大體四分ノ一標準ニ取リマシテ、ソレニ利息手数料ノ損ニナルモノヲ勘案致シマシテ、略一億圓ニ近イモノガ出テ來マシタ、此一億圓ヲ五億圓ニ對シテ見マス略二割見當ニナルト云フコトヲ申上ゲマシタ

○中島委員 是ニ參考トナルベキ從來ノ政府補償ノ場合ト致シマシテ、特別融通ノ此ノ昭和二年ニ於テ若槻内閣倒レ、田中内閣ガ出來マシタ時ニ、三土大藏大臣ト井上日銀總裁ガ實行サレマシタ際、アノ當時ノ見込ニ依リマス、大體其當時高橋サンガ議會ニ於テ御演說ナサイマシタ所ノ速記録ニ依テ見テモ、約五十億位ノ見當ノ貸付ガアルダラウ、ソレノ一割ト見テ五億位デ補償

シタラ宜イト云フ風ニナッテ居ッタヤウニ私ハ承知シテ居リマス、ソレデ中々殺倒シテ、各銀行カラ色々擔保物件ヤ何カラ澤山持ッテ來ラレテ、御承知ノ通り有價證券トカ或ハ手形、其他不動産モ一億二千三百萬モアリマスガ、ソレカラ鑛山、債券、船舶、或ハ又骨董品マデ御取リニナッテ居ルト云フコトヲ聞イテ居リマスガ、ソレニシマシテモ中々ヤカマシクテ、アレダケノ非常時ノ時ニ於テ、殆ド銀行ガ取付ケテ喰ッテ居ルヤウナアノ始末、其全額ヲ補償スルノデアラウ、アレハ利息ガ一錢四厘ト承知シテ居リマシタガ、今ダト公債擔保デスカラ四分三厘位ニナリマセウカ、ソレデモ中々ムツカシクテ、全額補償デヤルノデ、漸ク六億八千六百萬圓ダケガ融通スルコトニナリマシタ、サウ云フヤウナ工合ニ五十億ト決定シテ居ルノガ五億ニナッテ居ルト云フ調子デスカラ、是ガ五億貸出シテ居ルナラヤハリ其一割ト見テモ五千萬圓位出ルノデヤナイカ、全額補償ノ場合サヘ是デアルカラ、二割ノ補償デアルト云フト五千萬位私共ハ出ヤセヌカト思フ、斯ウ云フヤウニナッテ來マスと云フト、全ク畫餅ニ等シヤウナ計畫ニナリヤセヌカト云フト心配致シテ居ルノデアリマス、武田君モ本會ニ於テ

モ述べラレ、今モ縷々御述ニナリマシタガ、此點ハ特別融通ノ狀況カラ御話下サイマシテ、特別融通ノ回收ノ成績ノ惡イコトハ大藏省ノ當局ハ御承知デアリマセウガ、其成績カラ考ヘテ、餘リ補償額ヲ多クスルト云フト中々容易ニ是ガ回收モ出來ナイシ、又先ノ固定ヲ多クスルト却テ弊害ガ多クナルト云フ意味ニ於テ、補償額ヲ少クシタノデアリマセウガ、其過去ノ實績ヲ標準ト致シマシテ、今日ノ場合ニ付テノ御説明ヲ願ヒタイノデアリマス

○大久保政府委員 只今特別融通ノ先例ヲ引カレマシテ、色々御話ヲ承リマシタ次第デスガ、特別融通ノ場合ハ御承知ノ通り、預金支拂ニ充ル爲ニヤルト云フコトガ原則ニナッテ居リマシタ、目的ニ於キマシテ既ニ今日ノ法律ノ目的トスル所ト違ッテ居リマス、アノ當時ハ預金支拂ヲ標準ニシテ居リマシタ、成程今御話ニナリマシタ通りニ、此法律制定ノ當時ニ於キマシテノ對照ニ致シテ居リマシタ預金ノ額ハ大體サウ云フ風ナ説明ニナッテ居ッタカノヤウニ私モ承知致シテ居リマス、今度ハ目標ガサウ云フ風ナ方面デヤナクテ、金融疏通ト云フ風ナ方面デアリマスルカラシテ、今ノ特別融通ノノ目的ヨリモ相當廣イ、又積極的ノ意味ヲ

是ハ有ッテ居ルダラウト思フノデゴザイマス、デ融資銀行ノ損得ノ問題カラバカリ申シマスレバ、今御話ニナリマシタ通り補償額以内ニ之ヲ止メテ置ケバ、最モ安全ナ方法デアルカト思フノデアリマス、ソレデマア此ノ特別融通ニ付テモ世上ニハサウ云フ風ナ議論モアリマスルノデスガ、併ナガラ此勸業銀行等ノ不動産金融機關ニ於キマシテハ、サウ云フ風ナ預金支拂ノ爲ニドウスウスルト云フノハ銀行ノ目標デアリマセヌ、是等ノ銀行ハ主トシテ不動産乃至ハ産業振興ノ爲ニ努力スベキ立場ニアル特殊銀行デゴザイマスカラシテ、普通銀行等ノ實例ニ於キマシテモ、専ラ其不動産ヲ標準ニ持ッテ参リマス、吾々ノ方カラ見マスルト、之ヲ過去ノ例ノ如ク、補償ノ限度デ止メルト云フ風ナヤリ方ハ全然考ヘテ居リマセヌノデ、是非一ツ是ハ不動産銀行ノ使命ニ依リマシテ其普通ノ業務ト致シマシテ、不動産ニ對スル融通チャラセル、但シ其ヤリ方ハ、時局ニ鑑ミ、現在ノ實情カラ見マシテ、或ル程度ノ危険ヲ考ヘテ、ソレヲ國家ガ補償スル、サウシテ今ノヤッテ居ル働キヲ十分ニ活用サセルト云フヤウナ建前カラ出テ居リマスカラシテ、不動産ニ付テハ相當ノ長イ間ノ經驗及ソレニ付テノ前途ノ見越シモ、

融資銀行自身ニ於テ持ッテ居リマス、勸業銀行及十九ノ農工銀行、北海道殖産銀行、是等ノ二十一ノ銀行ニ於キマシテ、今日マデヤッテ居リマシタヤリ方カラ見テ、是ダケノ補償ヲシタナラバ相當ニ伸ルト云フヤウナ積リデ提案致シマシタ次第デゴザイマス
○中島委員 此場合特融ノ場合ニ於キマシテモ預金ノ拂出デアリ、又一方ノ目的ハ預金者ノ救済ガ目的ニナリマシタクレドモ、實際ニ實行サレタ後ニ於キマシテハ、預金ハチットモ拂出サレテ居ナイ、サウシテ預金モ減ッテ居ナイ、入ッタ金ハ何處ヘ行ッタカト申シマスルト、其銀行カラ他ノ目的ニ、詰リ貸出ニ使ハレタノモアリマセウシ、ソレカラ大部分ハ日本銀行ヘ歸ッテ來マシテ、或ル意味ニ於テハ日本銀行ノ救済ニナッテ居ルノデス、私細カイ數字ヲ持ッテ居リマスガ、特融ニ依テ救ハレタ銀行ト云フト、寧ロ日本銀行ニナッテ居ル、アノ當時ノ日本銀行ノ數字ヲズット眺メテ見マスルト、日本銀行カラ貸シテ居ッタ不良ノ貸出ノ肩代リニナッテ居ル、此場合モ亦立法ノ目的ガ特融ト同ジヤウナ工合ニ、別ノ方面ニ向ッテ行キヤシナイカ、今大久保局長カラ仰セラレタヤウナ工合ニ、地方マデ浸潤シテ行カナイデ——銀行ニ貸付ケル、其銀行ノ得タ金ハ

實際ハ地方民ニハ行カナイ、殆ド地方ニハ質草ハナイ、皆擔保ニ入ッテ居ル、殆ド固定シテ居ルカラ、コンナ問題ガ出テ來ル、サウスルト借りニ行ッテモ貸シテ呉レヤシナイ、普通銀行ハ中々貸サナイ、結局ハ外ノ親銀行ヘ預金デ預ケル、サウスレバ又日本銀行ヘ戻ッテ來ル、或ハサウデナクテモ外ノ投資ノ爲ニ良イ方面ニ持ッテ行ク、或ハ其他眞ニ救済セラルベキ此中小商工業者ニ對スル不動産ノ金融ト云フモノハ出來ナイ、先程武田君モ言ハレタノデアリマスガ、ソレガ何時モノ特融ノ場合カラ考ヘマシテモ、立法ノ趣旨ガ分ラス、政府ノ方針ガ徹底シナイ、此場合モ必ズヤサウナルデヤナカラウカ、一ツノ銀行救済ニナッテ、是ガクル廻ッテ、結局日本銀行ヘ入ッテ來テ、日本銀行ノ預金トナリ、潜在通貨ニナッテシマフ、實際通貨ト云フ言葉ガ善イカ惡イカ知りマセスケレドモ、實際上ノ通貨トシテハ、所謂現有通貨トシテグルノ廻ルノデハナイ、是ハ私一人ノ考ヘデハナク、銀行業ニ關係シテ居ル者ニ付キマシテ澤山當ッテ見マシタガ、是ハ決シテ徹底スルモノデナク、銀行ノ救済ニナリ、而モ更ニソレガ不良銀行ノ救済ニナリ、而モソレガ段々上ヘ上ッテ參ッテシマッテ、「インフレーション」ノ空廻リ、下ヘ行カナイデ上デグルノ

廻ッテ居ッテ、何ニモナラナイト云フヤウナ意見ガ當業者ノ間ニ頗ル確信ヲ以テ私共聞カサレテ居ルノデアリマス、サウ云フコトニ付キマシテドウ御考ニナリマセウカ
○大久保政府委員 今ノ御尋ニ對シマシテハ、多少今マデ實驗致シマシタ、五月ニ發表ニナリマシタ二億圓デ差當リ五千萬圓ト云フノ、實行狀況ヲ申上ゲテ見レバ御諒解ヲ得ルカト思フノデアリマス、是ノ方ハ先程モ誰方カノ御話ニナリマシタヤウナ工合ニ、實際ノ效果ハ十分ニ舉ゲテ居リマセヌ、或ル程度ノ效果ハ舉ゲテ居リマス、大體表ニ舉ゲテ居リマスノハ七百五十萬圓バカリ實ニ殖エテ居ルト云フ表ヲ差上ゲテアル次第デアリマスガ、是ガ今中島サンノヤウナ御心配ノ要ラナイ證據ハ、是ハ銀行自體ニ貸シマス分ト、肩代リノ分トニツアリマス、實際ニ於テドチラガ餘計行ハレルカト云フ事實問題ニ歸著スルノデアリマス、過去ノ七百五十萬圓バカリ出マシタ分ヲ見マシテモ、其利率ハ此成功ヲ妨ゲタ原因ノ重大ナル一ツト言ハレテ居リマスガ、八分デアリマス、ソレニ於テスラモ殆ド大部分ハ個人ノ方ニ廻ッテ居リマス、御承知ノ通り今マデ勸業銀行等ノ不動産銀行ハ、地方銀行ニ直

接ノ取引ガアリマセヌデシタガ、漸ク昨年ノ通常議會ニ於キマシテ、普通銀行トノ間ニ債權授受ノ方法ニ依テ取引ガ出來ルヤウニナリマシタ、ソレマデハ實際問題トシテハ殆ド普通銀行ト不動産銀行トノ關係ハナカタノデアリマス、ソレデ今度始メテ預金部ノ資金ヲ出シマシタノデスケレドモ、今御心配ニナルヤウナ金ヲ、勸業銀行其他ノ不動産銀行カラ普通銀行ハ借りテ居リマセヌ、ソレデ貸シマス分ハ、是カラノ新シイ貸出ニ依リマスノミナラズ、是等ノ不動産金融機關ハ、一ツノ銀行ニ對シテ、唯サウ何百萬ト云フヤウナ、或ハ何千萬圓ト云フモノヲ一遍ニヤッテ行クト云フ譯ニ行キマセヌカラ、勢ヒ銀行ニ貸ス分量モ相當ノ程度ニ之ヲ制限スル結果ニナリマス、實際ノ問題トシテハ、サウシテ茲ニ肩代リト云フコトヲ誘ヒ出ス原因ニナリマス、肩代リトナルト、六分二厘ト云フモノハ八分四厘ヨリモ安クナルカラ、此法案ハ非常ニ肩代リヲ誘致スルダラウト私ハ思ヒマス、今日マデ不動産銀行ト普通銀行トノ間ニハ、別段日本銀行ト普通銀行ト云フヤウナ工合ニ取引關係ガナカタノト、殊ニ肩代リノ場合ニ於テモ、利息ガ安クナルト云フ風ナ意味カラ、相當ハ個人ヲ相手トスルト云フ結果

ニナルデアラウ、既ニ出マシタル七百五十萬圓ノモノニ付キマシテモ、大部分ハ是ハ肩代リ資金ナノデアリマス、デスカラ今ノヤウナ御心配ハ大體ニ於テ此制度ニ於テハナイ、併シ此前ニ大藏大臣モ言ハレマシタ通り、色々ノ點ニ付テ此法制ハ監督上ニ付テモ注意シナケレバナラヌ、デ今仰シヤッタヤウナ事柄等ニ付キマシテモ、色々ノ弊害ハ豫想シテ、ソレカラ取締ルベキ標準等ハ、第一條ニ書イテアリマス大藏大臣ノ命令ニ依リマシテ、十分ニ取締ッテ行キタイト云フコトハ考ヘテ居リマス

○中島委員 普通銀行ハ勸業銀行借リテ居ナイト申シマシテモ、殊ニ北海道拓殖銀行ノ問題ニナリマス、北門銀行ト云フ殆ド北海道拓殖銀行ト同ジ銀行ガアリマス、サウ云フ方面カラ考ヘテ見マス、例ヘバ茲ニ北門銀行カラ金ヲ借りテ居ッテ、サウシテ此融資ヲ受ケルト致シマス、ソレハ勸業銀行ヤ農工銀行カラ直接私ナラ私ガ借りテ居ルト、私ハ融資ガ受ケラレナイコトニナリマス、六分二厘ノ適用ハ出來ナイ、北門銀行カラ借りテ居ルノハ出來ルコトニナッテ居リマス、所ガ北門銀行其モノハ北海道拓殖銀行ト同ジモノデアアル、向フカラ金ヲ持ッテ來テ貸シテ居ル、殊ニ東京邊リデハ、北海

道拓殖銀行ハ營業ガ出來ナイモノデアリマスカラ、北門銀行ニヤラシテ居ル、サウナッテ來マス、茲ニ問題ガ起ッテ來ル。私ノ聞キタイノハ北海道拓殖銀行カラ金ヲ渡シテ、ソレカラ北門銀行ガ外ノ人ニ貸シテ居ルト云フコトニナッテ來ルト、ソコニ問題ガ起ッテ來ル、ソレガ一ツト、モウ一ツハ債務者直接ニ中間銀行即チ勸業及農工銀行ニ言ウテ行ク譯ニ行カス、是ハ銀行ノ請求ニ依テヤルコトニナッテ居ル、銀行ガ請求スルコトニナッテ居ル、銀行ノ方カラ考ヘテ見ルト、重役關係ノ人々デアルトカ、或ハ懇意ナ人デアルトカ云フヤウナ、大體サウ言ッテハ何デアリマスガ、銀行ノ人ニ御馳走シテ餘程親密ニナラナケレバ貸シテ呉レナイ、殊ニ田舎ノ銀行ニナルト待合ニデモ連レテ行ッテ色々御馳走デモシナケレバ貸サナイト云フコトニナッテ來ルト、普通銀行カラ中間銀行ヘ請求シテ來ル人ト云フモノハ、重役關係ノ人々ガ私ハ多クナッテ來ハシナイカト考ヘル、サウシテ下ッテ來タ六分二厘ノ金ハ何處ニ持ッテ行クカト云フト、ソレ等ノ人ニバカリ融通シタルトカ、外ノ方ニ投資スルトカ、或ハ其他不良債權ヲ乗替ヘル、ソレカラ又銀行ガ直接ニヤリマ

ス場合ニハ、金ガ下ッテ來マシテモ預金ノ拂戻ハヤラナイ、或ハ債務者ニ對シテ何トカカントカ口實ヲ設ケテ、其借リマシタ安イ六分二厘ノ金ヲ持ッテ來テソレヲ外ノ方ニ廻スト云フコトハ、當業者ニ付キマシテ私共耳ニ聒ルノ出來ル程何處ニ行キマシテモ聞カサレルノデアリマスカラ、私共實際銀行ヲ經營シテ居リマセヌカラ、其間ノ消息ガ果シテ眞デアアルカドウカ分リマセヌガ、今私ノ述べマシタヤウナ事實ガ頻繁ニ行ハレルト致シマスナラバ、是ハドウシテモ個人ノ肩代リガ少イト思フ、今局長ノ仰シヤッタヤウナ工合ニ是迄ヤッタ二億ノ内七百五十萬圓程ガ出テ居ル、大分個人ノ肩代リガ多イト仰シヤッタケレドモ、此場合ト今度ノ場合トハ大分違フ、範圍モ廣クナッテ來テ居リマスシ、金額モ大クナッテ居ルシ、利率モ少イ、八分ト六分二厘ノ場合トハ利用サルベキ範圍ガ餘程違ッテ來ルデアラウト思フ、此一例ヲ以チマシテ今度ノ計畫ニ當嵌メルト云フコトハ大變ニ困難デアリ無理ダト私ハ考ヘマス、サウナッテ來マス云フトヤハリ「インフレーション」ノ空廻リデ、結局下迄ハ徹底セズ、金ハ廻リ廻ッテ日銀ノ懷ニ入ッテ行クノデハナイカト云フヤウナコトヲ私共ハ心配シテ居ル、或ハ又上ノ中間銀行ニ入ッテ行クノデハナイカ、此點ニ

付テ大藏省ノ方ハドレダケノ監督ヲスルノカ、細カイ契約其他ノ方法デ以テヤラレルノデアラウガ、是モヤリ方ニ依テハヤレヌコトモナイデセウ、ソレハ監督ガ行届クカ行届カヌノ問題デアリマセウガ、一ツく貸付ケル人々ニ付テ大藏省ガ監督ヲサレル譯ニモ行キマスマイ、コ、等邊リ銀行監督上ノ建前カラ考ヘマシテ、之ヲ立法ノ目的ニ副ハスト云フヤウナコトハドウ云フ方法デヤラレルカ、其點ニ付テ一ツ御答ヲ願ヒマス

○大久保政府委員 今度ノ制度ニ付キマシテモ、只今仰シヤルヤウナ弊害ハ、前以テ十分ニ準備ヲシナケレバナラヌト云フコトハ、吾々ノ方ニ於テモ氣付キマシテ、是ハ今後取締テ行ク一ツノ問題ト致シマシテモ、此融資ニ依リマシテ當該銀行ノ一部特殊關係ノ取引者ノミニ便宜ヲ與ヘルガ如キハ、十分ニ取締ル方法ヲ立テ、行キタイト思ッテ居ルヤウナ次第デアリマス、其後ニ於キマシテ大體ニ於テ普通銀行ト中間銀行トハ餘リ關係ガゴザイマセヌコトハ、先程説明申上ゲマシタ通りデアリマス、北海道拓殖銀行ニ付テ御述ベニナリマシタガ、此點ニ付テモ十分ナル取締方法ヲ命令致シテ居リマシヤウナ次第デゴザイマス、ソレ等ノ

點ニ付テハ此取引ニ付テ殊ニ心配ニナラナイヤウニ取計ッテ行ク積リデアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○中島委員 其ノ重役關係其他ニ付テ結局北門銀行或ハ拓殖銀行關係ニ付テ取締テ行クト云フノデスガ、其方法ハドウ云フ風ナ方法デオヤリニナルノデセウカ、其點ガ餘程此五億萬圓ガ下ニ沈ムカ沈マヌカト云フコトニ付テモ重大ナル關係ヲ及ボシテ行クノデアリマス、今ノ二割ガ多イカ少イカト云フコトハ武田君ト私モ同感デアリマシテ、ドウモ私モ少イヤウニ思フ、是ハ何ボ論ジマシテモ水掛論ニナリマスガ、殊ニ此勸業銀行、農工銀行、及北海道拓殖銀行ハドノヤウナ方法デ監督サレテ行クノカ、此北海道拓殖銀行ハ北海道ニ於テハ普通銀行ト相當取引ガアルヤウニ記憶シテ居リマスガ、勸業銀行、農工銀行ハ普通銀行ト一般ニ取引ガ少イ、少ナケレバ少イ程重役關係モ分ラナケレバ、營業狀態モ分ラナイ、大口ノ取引ノコトモ分ラナイ、斯ウナッテ來マスト何ヲ以テ今私ガ前ニ質問申上ゲマシタヤウナ點ニ付テ十分ニ御監督ガ出來ルノデアリマセウカ、私ハ恐ラク其方法ハナカラウト考ヘマス、從來ノ取引銀行デアッテ、此間ニ於テ密接ナル關係ガアリ、相當ノ調査

デモ出來テ居レバ又ソレハ別デアリマセウ、斯ウ云フヤウニ觀察シテ見マスト云フト、ドウ云フヤウナ方法デ取締テ行クカト云フコトガ重大ナル點ニナッテ居リマスガ、局長ガ仰セラレルノハ單ニ取締ラレル、嚴正ニ公平ニヤッテ行クト云フダケノ御考ダケヲ述ベラレタヤウデアリマスガ、ソレヲ一ツドノヤウナ方法デヤラレルノデアリマセウカ、銀行監督ト銀行検査ト云フヤウナコトニ付キマシテ、銀行検査モ御承知ノ通り事後検査デアッテ事前検査ハヤッテ居ナイ、唯臺灣銀行、朝鮮銀行デアリマスガ、此二銀行ダケニ付テハ監理官ガ出張シテ行ッテ、サウシテ惡イ債權ニハ貸サヌヤウナ工合ニ相談ニ與ッテ居リマスガ、後ハ皆事後検査ノヤウナ關係ニナッテ居ルノデアリマスガ、ドウシテヤッテ行クノデアリマセウカ、其點ニ付キマシテ私共ガ非常ニ疑問ニ思ッテ居リマス

ソレカラソレト關聯致シマシテ全國ノ普通銀行ノ數、其中デ七百何ボアルト私共記憶シテ居リマスガ、其不良銀行デアッテ、不動産ガ固定シテ救済シナケレバナラヌ銀行ヲドレ位ノ見當ニ見テ居ラレルノデアリマスガ、其銀行ガ何ボアルカ、又貯蓄銀行ハ何ボアルカ——貯蓄銀行ハ割合ニシカリシ

テ居ルガ、其中ニモ惡イ銀行ガ十カ十五ハアリマセウガ、此銀行ノ方ニハドウ云フヤウニシテ此融資ヲ廻シテ行クノデアルカソレカラ無資格銀行ガアリマス、合併若クハ減資スルニ非ザレバ殆ド持テナイト云フ銀行ガアリマス、是等ノ銀行ハ何ボアルテ、コ、等邊リニドノ位ノ融資ノ必要ガ起ッテ來ルカ大藏省ノ帳面ノ中デハ各銀行ノ中僅ニ七百カ八百迄ノ銀行デアリマスルガ、ウント多クテ九百位ノモノハ全體ノ數量カラ言ヒマシテモ殆ド戸別的ニ検査ノ結果ガ御分リニナッテ居ルニ違ヒナイ、此處ニ於テ銀行名ヲ擧ゲテ是々ヤッテ吳レト云フコトヲ申上ゲレバ、ソレハ銀行ノ信用ニ關スルカラ私共サウ云フコトハ要求シマセヌガ、大體ノ銀行數カラ見マシテ融資ノ對照ハドレダケノ數ガ其融資ヲヤルベキ銀行デアルカト云フ所カラ出テ來マスト、自ラ五億萬ト云フモノガ大體銀行數ノ何處々々ヘ分配サレルト云フコトノ見當ガ付イテ來ルノデアリマス、サウスルト其銀行ノ不動産ヲ持ッテ居ル所ノ債權ノ固定數モ亦自ラ各銀行カラ分ッテ來ルダラウト思ヒマス、ソレカラ算用シテ行キマスト、是ガドウ云フヤウニ徹底シテ行クカ、私本會デ述べマシタヤウナ工合ニ、三井、三菱、安田、住友或ハ第

一銀行トカ行フヤウナ十一ノ「シンデケー」銀行、是等ハ不動産貸付ヲヤツテモ差支ハナカラウト思ヒマスカラ、コンナモノヲ除外シテシマヒマシテ、銀行數カラ精細ニ茲ニ吟味シテ參リマシタナラバ、此今回ノ融資ガ何處ニ落チテ行クカ、ドレ位ノ程度デ落チテ行ッテ、一銀行當リニドレ位落チテ來ルカト云フコトカラ換算シテ見マススト云フト、此五億ガ下ニ徹底スルカシナイカト云フコトノ結論ガ私ハ自ラ得ラレテ來ルダラウト思ヒマス、甚ダ複雑ナル研究ノ要求デアリマスクレドモ、若シ大藏省ニ此方面ノ御見當ガ御付キニナラレテ居ルナラバ、今ノ銀行ノ數ノ上カラ言ッテ、固定シテ居ル不動産ノ程度カラ申シマシテ、ソレカラ御説明下サイマラスナラバ、又吾々モ武田君ノ質問セラレタ點モ自ラ了解シテ來ルダラウト思ヒマス

○大久保政府委員 只今ノ御尋ノ前段ハ如何ニシテ弊害ヲ取締ルカト云フヤウナ御趣旨デゴザイマシタ、ソレノノ融資銀行ニハ監理官ガアリマシテ、非常ナ精細ナル表ヲ取ッテ監督シテ居リマスバカリデナク、事前ニ於テモ今御舉ゲニナツタ銀行ノミナラズ、相當程度ニ於テ此頃ハ監督ヲ勵行致シテ居リマス、ノミナラズ此頃ハ普通銀行ニ

對シマシテモ、既ニ御話ノ中ニモ出マシタ通り、全國一般ニ精細ナル検査ヲ遂ゲマシテ、銀行ノ實情ニ付テハ相當明ニナツテ居リマスノミナラズ、銀行法規ガ改正ニナリマシテ、重役並ニ其關係者ノ取引ニ付テハ、年ニ四回拵ヘマス所ノ監査書ニ於テ、必ズソレヲ明記スルト云フ風ナコトニナツテ居リマス、ソレデソレ等ノ實際問題カラ見テモ、相當ニ弊害ガ除カレルヤウナ組織ニナツテ居リマスカラシテ、特殊銀行ニ於キマシテ惡イコトヲシヨウニモ、ソレ等ノ點ニ付テハ餘程困難ナ實情ニナツテ居ルダラウト思フノデアリマス、併シ監督ノ方ノ實際ノ問題ト致シマシテハ、是ハ御注意ノ點ハ正ニ敬承シナケレバナラス點デアリマスカラ、十分ニ尙ホ實行ノ出來マシヤウニ注意ヲ致ス積リデアリマス

第二ノ點ニ付キマシテハ、全國ノ銀行數ハ幾ラデアルカ、ソレニ對シテドノ位ノ見當ヲ持ッテ居ルカト云フ御尋デゴザイマシタガ、最近ノ統計デハ全國普通銀行ハ六百三十トナツテ居リマス、貯蓄銀行ハ八十八デアリマス、六百三十ノ中ニ無資格銀行ガ幾ラアルカト云フ御尋デアリマシタガ、今日ノ數デハモット減ッテ居リマシタガ、無資格銀行ハ最近ノ統計表ニ出マシタノハ百七アリ

マスガ、其中ニ二十數行ハモウ既ニ資格變更ノ手續中デゴザイマス、實際問題トシテ今殘ッテ居ルノハ八十餘リデアリマス、其八十餘リノ中デ六十行バカリハ近クソレノノ手續ヲ取ルヤウニ、ソレノ申請トカノ手續進行中ノモノデゴザイマス、是等ノ銀行ノ六百三十ト、貯蓄銀行ノ八十ト云フノガ今度ノ此融資ヲ受ケル銀行ノ目標デゴザイマス、其總計ガ此間カラ申シマス通り、貸付金ニ於キマシテ十四億二千九百六十六萬三千六百三十一圓、昨年ノ下期ノ十二月末ノ計數デゴザイマス、其中ニ支拂ヲ停止シテ居リマスモノ、債權額ガ八千九百十萬六百三十三圓ト云フ數字ニナツテ居リマシテ、是等ハ御手許ニ差上ゲテ居リマス表ノ中ニ載ッテ居リマス、其中ニ付キマシテ融資銀行ハ三色ニナツテ居リマス、勸業銀行ト農工銀行ト、北海道拓殖銀行デゴザイマス、勸業銀行ハ今日ハ農工銀行ニ合併致シマシタ關係上、全國ニ相當ノ數ノ支店、出張所ヲ持ッテ居リマス、農工銀行ハ今日十九縣ニアリマス、北海道拓殖銀行ヲ入レマシテ、勸業銀行以外ノ融資銀行ガ二十ニナリマス、其貸出ノ實情カラ見マシテ、其力カラ見マシテ、大體ニ於テ勸業銀行ト他ノ二十行トガ稍匹敵シテ居ル趨勢ヲ示シテ居リ

マス、例ヘバ不動産貸出ニ付キマシテモ、先程武田サンガ仰シヤッタ通り、勸業銀行ガ六億六千萬貸シテ居リマスレバ、他ノ二十ノ銀行デモ稍ソレニ匹敵スル六億六千萬近クノモノヲ貸シテ居リマス、色々ナ力ガ稍兩方似タヤウナ形ニナツテ居リマスカラ、今度ノ融資補償法ノ問題ヲ取扱フニ付キマシテモ、大體ニ於テソレ等ノ實力ヲ頭ニ置キマシテ、且又各地方ノ金融疏通ノ實情ヲ緩和致シマシテ、出來ルダケ公平ニ是等ヲ配分シテ行クト云フ仕組ニ考ヘテ居リマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○武田委員 私ハ先程伺ッテ居ッタコトデアリマスガ、モウ一寸伺ヘバ其點ダケハ終ルノデアリマス

○中島委員 私ノハ後ニ保留シテ置キマス

○青木委員 一寸關聯シタコトデ……私ハ實ハ本法ノ問題ト致シマシテ、勿論他ニモ重要ナ點モアルヤウデアリマスガ、大體金額ノ問題ガ此委員會ノ重要性ヲ帶ビルデハナイカト思フノデアリマス、其意味カラ申セバ、中島君カラ詳シク尋ネラレマシタノデアリマスガ、此問題ガ大體諒解ガ出來レバ此議事ノ進行モ非常ニ早イコト、思ヒマスカラ、更ニ私モ關聯シタ問題ヲ御尋致シマス、ソレハ第七條ニモ規定ガアルノデア

リマスカ、只今局長ノ御説明ニ依リマスト、一億圓ト云フ金ハ私共ノ考ヘル所ニ依リマスト、取扱銀行即チ融資銀行ガ一億圓以上ノ若シ損失ヲスルヤウナ場合ニハ、或ハ取扱上ノ缺點カラ來タノダカラ、是ハ融資銀行ニ負擔サシテモ宜シイト云フヤウナコトデ、一億圓限度ノ御決定ニナッタノデアリマスカ、又ハ色々御説明ニナッタヤウニ一億圓デ十分デアルト云フコトデアリマスカ、此點ヲ一ツ御伺シタイト思ヒマス

○大久保政府委員 立案致シマシタ趣旨ハ、特殊銀行ト雖モ相當ノヤハリ堅實サヲ持タセナケレバナリマセスカラ、特殊銀行ニ此仕事ノ爲ニ特ニ損失ヲ與ヘテモ構ハヌト云フ趣旨ニハ考ヘテ居リマセス、特殊銀行ノ執務上デ受ケタ損失ハ、出來ルダケ大體ニ於テ之ヲ補償スル、斯ウ云フ建前デゴザイマス、消極的ニ鑑定ノ費用デアルトカ、其他色々仕事ヲスル爲ニ努力シナケレバナラヌ部分ガアリマス、鑑定ノ手数料モ取ルナトカ、成ベク融資ノ方面ヲ圓滑ニスル爲ニ色々費用ノ上ニ於テ、相當ニ勉強シナケレバナラヌ分ガゴザイマスノデアリマスカラ、ソレ等ノ實行上ニモ特殊銀行ニ於テ時局ニ鑑ミテ人ヲ増ストカ、或ハ調査鑑定ノ手数料ハ取ルナトカ、其他色々勉強振リ

乃至ハ色々ノ經費ノ點ニ付キマシテ特殊銀行ガ相當ノ御奉公ヲシナケレバナラヌト云フ地位ニアルト思ヒテ居リマス、既ニ過日預金部カラ出シマシタ二億圓カラ差當リ五千萬圓ノ融資ヲ致シマス際ニ於キマシテモ、時局ノ上カラ是等ノ費用等ニ付キマシテハ特殊銀行ニ對シテ御奉公シロト云フ風ナ意味デ指圖ヲ致シマシタノデアリマス、併ナガラ此業務ヨリ生ズル所ノ直接ノ損害ヲ是等ノ銀行ニ負擔サセルト云フコトハ、ヤハリ特殊銀行ノ堅實サノ上カラ見マシテ考慮スベキ問題デアリマスカラ、其點迄ハ負擔サセルト云フ積リニハ考ヘテ居リマセス、大體算出致シマス基準ハ是カラ考ヘナケレバナラヌノデアリマスカ、今迄ノ先例等ヲ考ヘマシテ、大體融資銀行ノ損失ハ此關係ニ於テ、此程度デ以テ「カバー」ガ出來ルモノデアル、隨テ融資銀行ニハ此問題カラ積極的ニ損失負擔ノ必要ハナイ、斯ウ考ヘテ居リマスカ次第デアリマス

○青木委員 サウ致シマスレバ武田君先程御話ニナッタ第七條ノ大部分ハ若シ此金額ヲ殖シテ置イテモ、銀行ガ眞面目ニヤツテ、サウシテ一億五千萬圓ノ負擔ガ出來レバ、ソレガ爲ニ立法上ノ理由ガ通ル譯デアリマス、例ヘバ之ヲ一億五千萬圓トカ二億

圓トカニシテ置キマシテ、何カ當局トシテ損害トカ、不利益トカアルデアリマセウカ、其點ヲ御尋致シマス

○堀切政府委員 一面カラ申セバ補償ノ限度ハ成ダケ餘計ニシテ、本法ノ適用ヲ成ダケ大キク致シタイト云フ希望ハ是ハ十分私共考ヘマスガ、同時ニ又國家トシテ此補償ハ國民全體ノ將來負擔ニ歸スベキ問題デアリマスカラ、一面カラ言ッテハ出來得ルダケ之ヲ少クシナケレバナラヌトモ考ヘテ居ルノデアリマス、兩方ノ是ハ相衝突シテ居ル利害關係ニナリマスノデ、之ヲ決定スルコトハ頗ルムヅカシイノデアリマス、先ヅ私共ハ一億圓程度ガ相當デナイカト考ヘマシタ次第デアリマス

○青木委員 是ハ繰返サレタ御答辯デアリマスガ、私共ハサウ云フ心配ハナイカラ十億圓計上シテモ宜イ、十五億圓計上シテモ宜イト云フコトヲ申上ゲルノデハナイノデアリマス、本法ノ精神ガ時局匡救ノ目的デヤツテ居ルノデアリマスカラ、又局長ノ御説明ニナリマシタヤウニ取扱銀行ニハ是ガ爲ニ損失掛ケルヤウナコトガアツテハイケナイカラ、損失掛ケルコトガアリマスト致シマス、武田君ヤ中島君ガ心配ヲ致シテ居リマスカラ、折角此法ガ實施サレマシテ

モ活用ガ出來ナイト云フ事情ニ相成リマシ、又取扱ノ上ニ於キマシテ、第七條ノ嚴格ナ規定モアルノデアリマスカラ、此程度ノ金額ヲ先ヅ假ニ相當ナ金額ト思ヒマス、私ハ金額ノ程度ニ對シマシテハ色々又御相談ガ出來ルヤウニ思ヒマスガ、相當ノ金額ニシテ置クナラ私共ハ心配ハナイト考ヘマス、又若シ眞ニ此法律ガ活用サレマシテ、少々金額ガ殖エルコトニ相成リマシテモ、此立法上ノ精神ハ達シ得ルヤウナコトニ相成ルノデアリマス、此點ニ對シマシテ一億ト云フ金額ノ算定ハソレデ宜カラウ、斯ウ云フ程度ノモノデアツテ、若シソレ以外ニ貸出チスルヤウナコトガアレバ、ソレハ融資銀行ノ損害ニナルモノデアルト云フコトニナレバ、尙更此金額ニ裕リヲ置イテ——私共カラ見レバ裕リデハナイ、必要デアリマスガ、當局者ノ方カラ見レバ裕リデアリマス、サウ云フコトニシテサウシテ實際ニ融資銀行ヲシテ活用チャラセ、サウシテ實際本法ノ目的ヲ達スルヤウニシタノガ宜イデハナイカト云フコトヲ考ヘルノデアリマスガ、是ハソレ以上進ミマスト議論ニナリマスカラ差控ヘルノデアリマスガ、要スルニ私共ハ取扱銀行ニハ損失ヲ掛ケナイノミナラズ、相當ノ手数料迄渡シテ是等ノ點ニ付テ取扱ヲ

敏活ニシ、簡易ニスルト云フ目的デアリマス以上、ドウシテモ此金額ニ對シマシテハ當局ニ於テ御一考ヲ願ハナケレバナラスト云フコトヲ申上ゲマシテ、私ノ質問ヲ終リマス

○武田委員 私ハ補償ノ事ニ付テ簡單ニ承リマス、此度ノ御提案ハ融資銀行ヲシテ不動産ノ評價ヲ成ベク寛大ナラシムルト云フ御趣旨ノヤウニ伺ッテ居リマス、是ハ極メテ結構ナコト、思ヒマス、之ヲ寛大ニスルニアラザレバ到底——先程中島君カラ御話モアリマシテ、私ハ御禮申上ゲテ居ルノデアリマスガ——本案ヲ實行シテモ困難デア、豫定ノ融資ヲ實現シテ眞ニ金融ノ疏通ヲ圖ルト云フコトモ困難デアルト思ヒマス、而シテソレヲ寛大ニスルト云フコトハドウ云フ風ニシテ寛大ナラシムルヤウナ御腹案ガアリマセウカ承リタイ、或ハソレハ手心デアルトカ、或ハ何等カ訓令ノヤウナモノヲ出シテ御ヤリニナルノカ、又ハ從來ノ勸業銀行ノ見積方法ヲ特ニ改メシムルヤウナ手段ヲ御執リニナルノカ、幸ニ寛大ナ見積リガ出來ルト云フコトニ相成リマスレバ洵ニ仕合セデアリマスガ、サウシマス、先程繰返シテ申シタ譯デアリマスガ、其寛大ニ見積ッタ全額ヲ貸付ケルト云フコトニ

ナリマスカラ、ドウシテモ其處ニ、勸業銀行デ現在行ッテ居ルヨリ危険ノ率ガ多クナルト云フ結果ハ免レナイノデアリマス、サウスルト私ガ最初ニ申上ゲタヤウニ、今度ノ貸方ハ三割乃至四割餘計負擔ナスル、現在ニシテモ相當寛大デア、ルノニ更ニ寛大ナ貸方ヲスルト、更ニ危険率ガ多クナルト云フコトニナリマスカラ、一億圓ノ補償額デハ少クハナイカト云フ結論ニ到達スルヤウニ思フノデアリマス、ソレデア、ルカラ評價ヲ寛大ニスルト云フコトハ、ドウ云フ方法デ御ヤリニナルカト云フコトヲ承ルト同時ニ、ソレニ關聯シテ後段申上ゲタコトニ付テ一應御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○大久保政府委員 二億圓ノ中差當リ五千萬圓出シテ、融資補償法ニ付キマシテ出來ルダケ簡單ナ手續ナスルヤウニ致シタイ、今迄ノヤウナ工合ニ長ク掛ッテ煩瑣ニナッテ居ッテハ、金ヲ借リニ行ク者ハ非常ニ困ル、成ベク簡單ニ、出來ルナラバ机上鑑定ヲ用ヒタイ、不動産銀行等デハ、何處ノ村ハドノ位、何處ノ何某ハドノ位ト云フ、大體ノ標準ガ分ッテ居リマスカラ、既ニ勸業銀行カラデモ發表致シマシタヤウナ工合ニ、一應机上鑑定ヲ用ヒマシテ、ソレニ依テ或程度ノ融資ヲ至急ニヤル、手續ヲ非常ニ簡單ニスル、

尙又實際ニ臨ンデ之ヲスル場合ニモ、或ハ調査手数料デアリマスカ、或ハ鑑定費デアリマスカ、色々ナ費用ヲ取ラナイ、又迅速ニ手續ヲシナケレバナラス、且又鑑定等ニハ斯道ノ人間モ相當加ッテ目的ヲ達スルヤウニト云フ風ナ條件ガ含ッテ居リマスカ、法律上カラ申シマス、今度ノ鑑定價格ト云フモノハ先程述べマシタ通り、第三條ノ鑑定價格ハ現行法ノ勸業銀行法ヲ見マスト、第十八條及第三十一條、農工銀行法ヲ見マスト第七條ノ三及第十條、斯ウ云フヤウナ從前ノ鑑定價格ノ三分ノ二以內トスルト云フノヲ之ヲ全額迄行ケルト云フコトニ致シマシタ、此點ダケハ法規上鑑定價格ノ改定ナノデアリマス

○武田委員 サウシマス、成ベク評價ヲ寛大ニスルト云フ意味ハ鑑定料ヲ取ラナイトカ、迅速ニ事ヲ運ブトカ、煩瑣ナ手續ヲ成ベク簡單ニスルト云フ意味ダケデアリマシテ、從來ノ評價ノ方法ニ多少ノ變更ヲ加ヘテ成ベク評價ヲ緩カニスルト云フ、詰リ今迄ノヤウナ嚴格ニセズシテ、多ク見積ルト云フヤウナ意味ハ含マレテ居ナイノデアリマスカ、從來勸業ノヤリ方ト云フモノハソレノ規定モアリマセウシ、内規モアリマセウガ、ドウモ實際ノ市價ヨリハ少シ見

積方ガ辛イト一般ニ言ハレテ居ル、ソレデ此度ハ成ベク多ク貸出ナシ、危険ニ陥ラナイ範圍內ニ於テ貸出ナスル、尙ホ危険ガアルコトヲ慮ッテ補償ヲヤルコトニナッテ居ルノデスガ、其補償ト云フ意味ニ於テハ從來ノ評價ヨリハ、評價ノ手續ノ簡易ト云フノミデナク、評價ソレ自身ヲ寛大ニスル意味ガ含マレテ居ルモノト承知シタノデアリマスカ、今ノ局長ノ御話カラスレバ鑑定料ヲ取ラヌトカ、机上鑑定ヲシテ成ベク貸付方ヲ早クスルト云フ手續上ノ便宜ト云フダケニ止ッテ居ルモノデアリマセウカ、サウスルト吾々ノ考ヘテ居ッタノヨリハ、少シク違フヤウニ思ヒマスガ、ソコチ一ツ明ニ承リタイト思フノデアリマス

○大久保政府委員 法律上ノ問題ト致シマシテハ、三分ノ二デアッタノヲ全額マデ行キマスカラ、此點ニ付テハ鑑定價格、貸付價格ノ擴張ニナルノデアリマス、ソレ以外ノ鑑定ノ手心ニドウ云フコトヲ用ヒルカト云フヤウナ問題ニナリマスト、是ハ融資銀行ト不動産銀行ノヤリマス事柄デアリマシテ、今日ソレヲ特ニ必要ニ辛ク見ルト云フコトハイケナイ、ソレハ此前ノ二億圓ノ場合ニモ出來ルダケ評價鑑定ヲ事實ニ近カラシムルヤウニヤレト云フ注意的ノ命令ハ

行ッテ居リマスガ、此際補償が付イテ居ルカ
ラ是ダケ寛大ニヤレト云フヤウナ積極的ノ
意味合ハ、此法規ニハ含シテ居リマセヌ、
此法規ノ範圍内ニ於テハ三分ノ二ガ全額ニ
ナッタデゴザイマス

○武田委員 サウシマスト法規上ニ付テハ
局長ノ御説明デ満足致シマスガ、實際ハ多
少此評價ニ何カ内訓的ナ方法カ、或ハ御監
督ノ上カラシテ成ベク評價ヲ寛大ニスルト
云フヤウナ御處置ヲ御執リ下サル御意思デ
アルノデアリマスガ、又サウデナク、今承
ルト五千萬圓ノ時ノヤウニ實際ニ遠ザカラ
ナイヤウニセヨト云フ位ナ、御注意位ノ程
度デスカ、ソレハ當然ナ話デ、元來市價ニ
遠ザカラナイヤウニト云フコトハ改メテ言
フ迄モナイコトデ、當局ガ既ニ勸銀其他ニ
對シテサウ云フ御注意ノ訓令ヲ御出シニナ
ルト云フノハ、勸銀ノ評價ト云フモノハ少
シ辛過ギル、實際ノモノヨリハ辛過ギルト
云フコトカラシテ、今度少シ寛大ニセヨト
御注意ニナッタモノデアリマセウガ、其點カ
ラ見テモ大藏當局御自身既ニ勸銀ノ評價ト
云フモノハ、少シク穩當ヲ缺イテ居ル、餘
リニドウモ辛過ギルト云フコトヲ御認識ニ
ナッテ居ルト謂ハナケレバナラヌ、サウ致シ
マスト何等カ監督上ノ作用ニ依テ、若クハド

ウ云フ機關デアルカ私ハ存ジマセヌガ、兎
モ角適當ナ手段ヲ以テ從來ヨリハ評價ヲ

―不動産ノ評價ヲ寛大ニセシムル、手續ノ
簡易ノミナラズ、實質ニ於テモ寛大ニセシ
ムルト云フ御趣旨ガアルノデアリマスガ、
ナイノデアリマスガ、吾々ノ希望カラ致シ
マスレバ、是非從來ヨリハ寛大ニセシムル
ヤウニ御配慮ヲ願ヒタイト云フ希望ヲ持ッ
テノ御伺デゴザイマス、其點如何デスカ
○大久保政府委員 サウ云フ風ナ御希望ハ
所々方々カラ出テ居リマスノデ、其御希望
ニ付テハ出來ルダケ當事者ニモ考ヘサセル
ト云フ趣旨ニ於キマシテハ、私全く同感デ
アリマス、此問題バカリデナク、一般的ニ
勸業銀行ノ貸出ニ付テハ其點ヲ注意致シテ
居ル次第デアリマス、唯御尋ガ此貸付ダケ
特別ニ扱フカト云フヤウナ御趣旨デアリマ
スガ、今ノ勸銀ニ對スル世評ハ此問題バカ
リデナク、一般的ニ御話ノヤウナコトガア
リマスノデ、一般的ニ辛過ギル、不必要ニ
辛過ギル、ソレハ成ベク不必要デナイヤウ
ニヤラシテ行キタイ、唯此問題ダケニ付テ
別格ニ取扱フカト言ヘバ、ソレハ中々困難
ナ問題デゴザイマスカラ、法律ソレ自身ニ
於テ是ヲ擴ゲマシタ、斯ウ云フヤウナ次第
デアリマス

○武田委員 先程モ一寸伺ヒマシタガ、休
業銀行ノコトデアリマス、今回休業銀行ノ

中將來復活シ得ル見込ノモノニアッテハ融
資ヲスル、見込ノナイモノハ融資ヲシナイ
ト云フ、斯ウ云フ御答辯デアリマシタガ、
サウシマスト云フト、其數ハドノ位アリマ
スカ、休業銀行ノ數ハ先程承リマシタケレ
ドモ、將來復活シ得ル銀行ハドノ位アルカ
ト云フコトハマダ承リマセヌガ、其數ハ兎
モ角ト致シマシテ、復活ノ見込ノナイ休業
銀行ニ對シテ不動産ヲ擔保ニ借入ヲシテ居
ル債務者ト云フ者ハ、如何ナル場合ニ於テ
モ此恩惠ニ與ルコトガ出來ナイヤウナコト
ニナルト思ヒマスガ、併シ一面カラ言ヘバ
其休業銀行ニ對シテ提供シテ居ル不動産ニ
肩代リヲシテ貰ッタカラト云フテモ、融資銀
行ハ何等ノ損害モナク、又債務者ハソレダ
ケ助カルノデアリマス、ヤハリ利子モ安ク
期限モ長ク肩代リシテ貰フノデアリマスガ
ラ助カルノデアリマスガ、隨テ營業ノ見込
ノナイ休業銀行ト雖モ破産ノ場合ニ債權ヲ
取ッテ債務ニ充當シナケレバナラヌノデア
ルカラ、肩代リヲシテ貰ッタ方ガ休業銀行モ
助リ、債務者モ助ルノデアリマス
ソレデ此規定ノ中カラ將來復活ノ見込ノ
ナイ休業銀行ニ對シテハ貸出ヲシナイト云

フコトニナッタノハドウ云フ譯デアリマス
カ、コレハ氣ノ毒ノヤウニ思フバカリデナ
ク、不公平ノヤウニモ考ヘラレルノデアリ
マスガ、ソレハドウ云フコトニナリマスガ

○大久保政府委員 休業銀行ノ數ニ付キマ
シテハ御手許ニ差上ゲテアル表ノ中ニ書イ
テゴザイマス、其休業銀行ノ中デ幾ラガ復
活スルデアラウカドウデアラウカト云フ御
尋ニ對シテハ、今鋭意整理案ヲ作成シツ、
アリマス、是ハ銀行ノ内部ノ整理案、竝ニ
色々ナ理由デ以テ例ヘバ重役ノ誠意ニ依リ
マシテ、其他又預金者ノ互讓等ニ依リマシ
テ、整理案ト云フモノガ立ツ譯デゴザイマ
シテ、ソレヲ適確ニ是ダケト云フコトヲ豫
言スルコトハ出來マセヌ、遺憾ナガラ將來
ニ於テモ見込ノアルモノ幾ラト云フコトハ
申上ゲ兼ル次第デアリマス、休業銀行中復
活ノ見込ガナイモノニ付テモ其恩典ヲ及ボ
シタラ宜イデヤナイカ、殊ニ肩代リノ場合
ニ於テハ何等利害關係ガナイデヤナイカト
云フヤウナ御趣旨デアリマスガ、其點ニ付
テハ相當色々考究致シマシタガ、第一ニ休
業銀行ハ破産法上ドウ云フ地位ニ立ツカト
云フ點ガ問題ニナルノデアリマス、大審院
ノ判例ニモ必ズ決ッテ居ルト云フ譯デモア
リマセヌガ、大體最近ノ判例ハ休業銀行ハ

一種ノ支拂停止デアル、要スルニ破産ノ前提デアルト云フ風ニナッテ居リマス、融資銀行ガ之ニ對シテ爲シタルモノハ御承知ノ通り破産法ニ依リマシテ無効ニナリマス、ソレデ契約ソレ自身ガ取消サレルヤウナモノニナリマシテ、其關係ハ法律的ニ極メテ面倒デアリマス、現ニ融資銀行ノ中デハサウ云フ風ナ事情カラ致シマシテ休業銀行ガ整理確定スレバ、是ハ別問題デアリマスガ、整理確定ガ出來ナイ休業銀行ニ付テハ、法律上ノ難點ガアルト云フコトヲ今研究致シテ居ル次第デアリマス、大體ニ於テハ大審院ノ判例ハサウ云フ風ナ判例モ多イヤウデアリマス、此點ハソレ等ノ意味ガ一ツト、ソレカラ更ニ金融疏通ト云フ意味カラ致シマシテモ、既ニ將來見込ノナイト云フ問題ニ付テ、サウ云フ風ナ銀行ガ金融ノ疏通ノ上ニ裨益スル點ハ割合ニ少ナイデヤナイカト云フヤウナ實情ノ考モアルノデアリマス、旁々法律上ノ問題、ソレ等ノ事情カラ休業銀行ノ融資銀行カラ受ケル場合ハ成ベク整理更生ノ見込ノアルモノヲ目安ニシテ置キタイ、斯ウ説明ヲ申上グタノデアリマス

○武田委員 私ハ尙ホ二三質問ガアルノデアリマスガ、尙ホ繼續シテ御答下サルノデ

アレバ質問ヲ繼續致シマス、時間ガナケレバ明日ニ保留シタイト思ヒマス

○金光委員長 ソレデハ明日ニナサッテハ如何デゴザイマスカ——本日ハ此程度デ止メマシテ、次回ニ於テ質問ヲ繼續スルコトニシタイト思ヒマス、宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○金光委員長 ソレデハ質問ハ留保シテ置キマス、次回ノ開會ノ日時ハ公報ニテ御承知ヲ願ヒマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後四時一分散會